

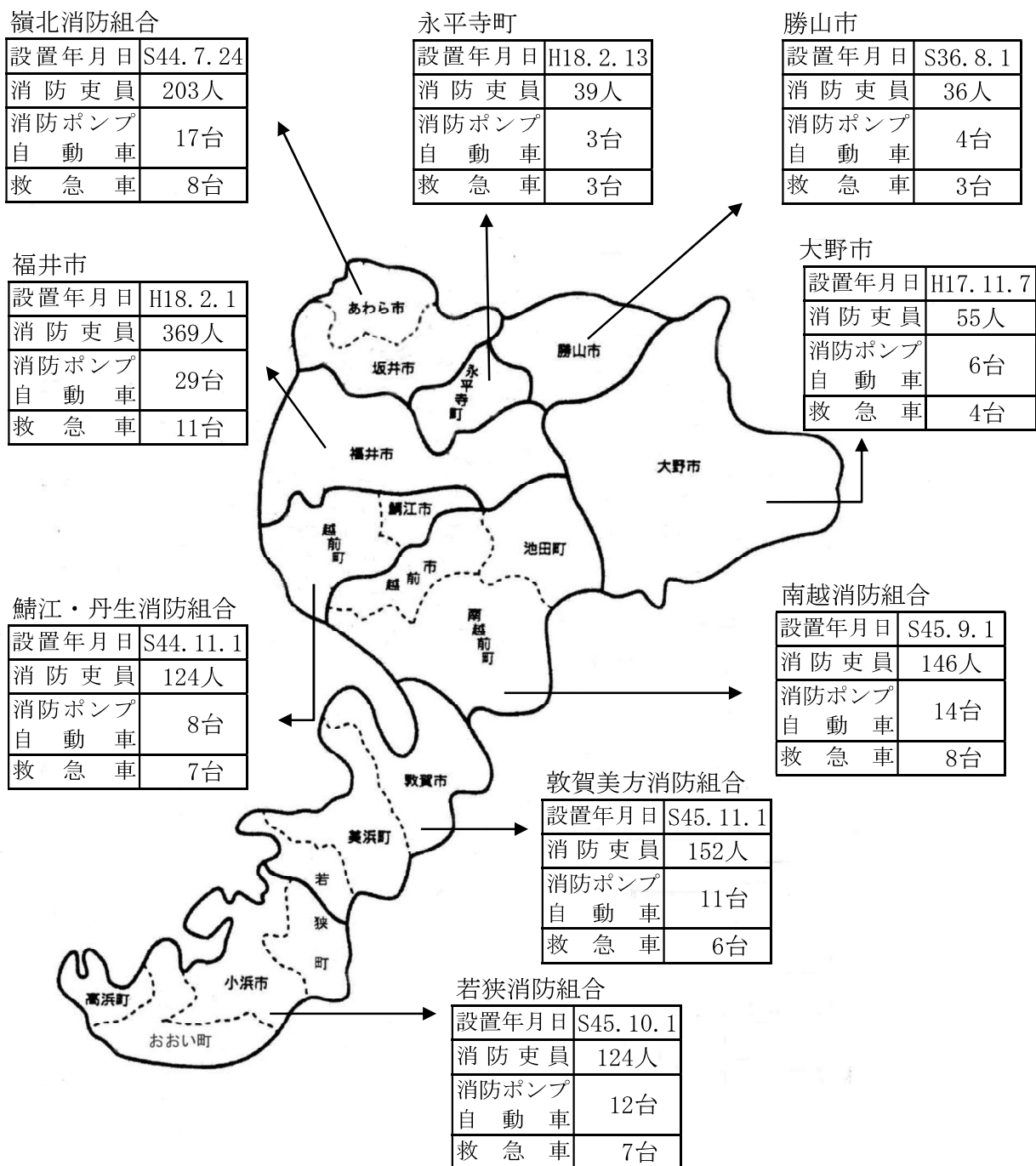
# 消 防 編

---



# 第1章 消防の概要

## 第1表 福井県常備消防体制(令和5年4月1日現在)



※台数については、消防団分を含まない

第2表 消防の概況表

面積（国土地理院「全国都道府県市区町村別面積調」令和5年4月1日現在）		4,190.58	km <sup>2</sup>
令和2年国勢調査（確定値）人口		766,863	人
推計人口（令和4年4月1日現在）		746,733	人
推計世帯数（令和5年4月1日現在）		294,238	世帯
65歳以上高齢者数（福井県の推計人口 令和4年10月1日現在）		232,706	人
高齢化率（ “ ” ）		30.9	%
地域別人口	福井坂井地区（令和2年国勢調査 確定値）		397,298 人
	奥越地区		53,436 人
	丹南地区		181,456 人
	嶺南地区		134,673 人
令和4年火災状況	火災件数		172 件
	うち	建物火災件数	95 件
		林野火災件数	6 件
	建物焼損面積（床）		4,670 m <sup>2</sup>
	林野焼損面積		82 a
	損害額		291,134 千円
	うち	建物火災	275,478 千円
		死者（自殺者数内数）	
負傷者		38 人	
出火率（人口1万人に対する出火件数） ※人口：令和4年3月31日現在		2.25	件
令和4年救急状況	救急出場件数		32,231 件
	うち	急病	20,946 件
		交通事故	1,984 件
		一般負傷	5,133 件
搬送人員		29,977 人	
消防本部・署所	消防本部	単独設置市	3
		単独設置町	1
		消防一部事務組合	5
	消防署数		19
	出張所数		26
	消防職員	消防吏員	1,248 人
		その他の職員	28 人
合計		1,276 人	
消防団	消防団数		18
	分団数		237
	消防団員	非常勤団員数	5,849 人
		常勤団員数	—
		合計	5,849 人

消 防 車 両 等	区 分		消防本部・署所	消 防 団		
	普通消防ポンプ自動車		52 台	130 台		
水槽付消防ポンプ自動車		23 台	4 台			
はしご付消防ポンプ自動車		9 台	—			
屈折はしご付消防ポンプ自動車		3 台	—			
大型高所放水車		1 台	—			
泡原液搬送車		2 台	—			
化学消防自動車		14 台	—			
指揮車		20 台	—			
小型動力ポンプ付積載車		—	199 台			
小型動力ポンプ(車両に積載していないもの)		26 台	84 台			
広報車		30 台	—			
資機材搬送車		28 台	—			
屈折放水塔車		1 台	—			
救急自動車		57 台	—			
救助工作車		14 台	—			
その他の車両		31 台	—			
消 防 水 利	消火栓	公 設		18,932 個		
		私 設		98 個		
	防火水槽	100m <sup>3</sup> 以上		118 基		
		60m <sup>3</sup> 以上 100m <sup>3</sup> 未満		113 基		
		40m <sup>3</sup> 以上 60m <sup>3</sup> 未満		4,959 基		
		20m <sup>3</sup> 以上 40m <sup>3</sup> 未満		465 基		
	井戸	公 設		80 個		
私 設		—				
そ の 他			548 個			
通 信 施 設 等	消防用無線		基地局および固定局		66 局	
			移動局		1,093 局	
	防災行政無線	市町	同報無線	同報親局		24 局
				同報受信設備		28,952 局
			移動無線	基地局		9 局
				移動局		469 局
		県	固定系	地上系		28 局
				衛星系		68 局
	移動系		基地局等		18 局	
		移動局等		221 局		
	テレビ監視装置			2 基		
火災報知専用電話			99 回線			
消防電話			224 回線			

## 第2章 火災の実態

### 1 概況

令和4年度中の火災発生件数は172件、死者10人、負傷者38人、損害額2億9,113万円、焼損棟数137棟、り災世帯数75世帯、り災人員167人となっており、一日当たりの損害状況は第1表のとおりで、概ね毎日80万円が灰じんに帰していることになる。

火災発生件数、損害額および死傷者数の過去10年間の推移は、第1図、第2図のとおりであり、火災発生件数においては、平成25年中が最も多く、令和3年中が最も少ない。

### 2 出火件数および損害額の状況

#### (1) 出火件数

総出火件数は172件で、これを火災種別ごとにみると、第3図のように建物火災が95件で全体の55.2%を占め、車両火災21件(12.2%)、林野火災6件(3.5%)、船舶火災2件(1.2%)、その他火災48件(27.9%)となっている。

また、建物火災だけでみると、第4図のように一般住宅が39件(41.1%)で最も多く、次いで工場19件(20%)、共同住宅・事務所それぞれ6件(6.3%)、複合用途(特定)5件(5.3%)、倉庫2件(2.1%)、飲食店1件(1.1%)、その他9件(9.5%)となっている。

第3表の月別火災発生状況表を見ると、出火件数の多い月が3月と4月で各23件、少ない月が11月の9件となっている。

第4表では、市町別の火災発生状況を示している。

#### (2) 損害額

損害額は2億9,113万円で、これを火災種別ごとにみると、第5図のように建物火災が2億7,548万円で全体の94.6%を占め、次いでその他780万円(2.7%)となっている。火災1件当たりの損害額は約169万円となる。

第3表の月別火災発生状況表をみると、12月の損害額が約6,819万円で最も多く、6月が約673万円で最も少ない。

### 3 出火原因

全火災の出火原因別状況を表したのが第6図であり、出火原因別損害状況を表したのが第6表である。

第6図をみると、出火原因では電灯電話等の配線が最も多く19件で11%を占め、次いで、たき火15件(8.7%)、ストーブ12件(7%)、電気機器11件(6.4%)、マッチ・ライター9件(5.2%)などとなっている。

#### 4 火災による死者の状況

死者の死因別発生状況を表したのが第7表であり、死者の経過別、年齢別発生状況を表したのが第8表である。

第7表をみると、死因では、一酸化炭素中毒・窒息が5人、火傷が4人となっている。また、令和4年中の死者に占める65歳以上の高齢者は6人で全体の約6割となった。

第1表 1日当たりの損害状況

区 分	単 位	令和4年 (A)	令和3年 (B)	対前年増加数 (A)－(B)
出火件数	件	0.47	0.42	0.05
損害額	万円	80	135	△ 55
焼損棟数	棟	0.38	0.36	0.02
り災世帯数	世帯	0.21	0.18	0.03
り災人員	人	0.46	0.46	0.00

第2表 令和4年火災発生状況と前年比較表

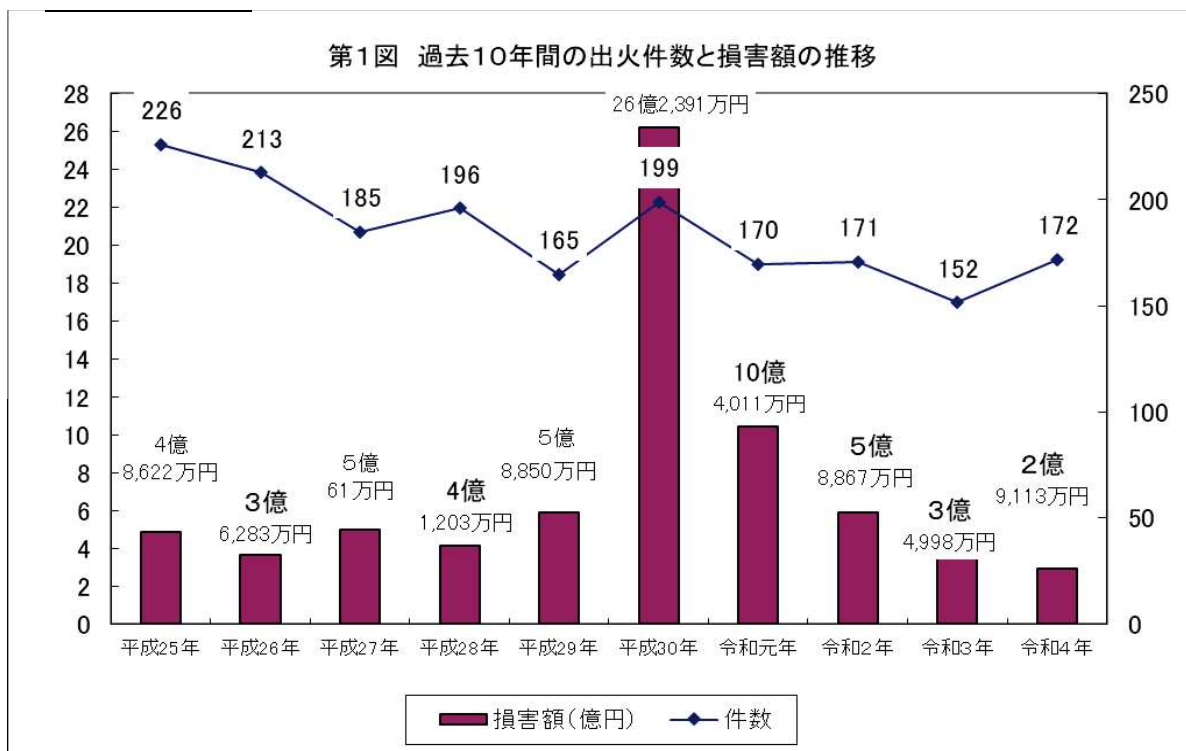
区 分	令和4年(A)	令和3年(B)	対前年増加数 (A) - (B) = (C)
総 出 火 件 数	172	152	20
建 物	95	86	9
林 野	6	6	0
車 両	21	24	△ 3
船 舶	2	1	1
そ の 他	48	35	13
焼 損 棟 数 (棟)	137	132	5
全 焼	32	31	1
半 焼	7	7	0
部 分 焼	37	40	△ 3
ぼ や	61	54	7
り 災 世 帯 数 (世 帯)	75	67	8
全 損	17	15	2
半 損	6	5	1
小 損	52	47	5
り 災 人 員 (人)	167	168	△ 1
建 物 焼 損 面 積 (㎡)	4,670	5,884	△ 1,214
林 野 焼 損 面 積 (a)	81	499	△ 418
損 害 額 合 計 (千 円)	291,134	494,337	△ 203,203
建 物	275,478	432,255	△ 156,777
林 野	537	7	530
車 両	7,272	4,785	2,487
船 舶	51	850	△ 799
そ の 他	7,796	56,401	△ 48,605
爆 発	0	39	△ 39
死 者 (人)	10	5	5
( ) は 放 火 自 殺 者 内 数	(3)	(2)	1
建 物	8	3	5
林 野	0	0	0
車 両	0	2	△ 2
船 舶	0	(2)	(△ 2)
そ の 他	2	0	2
( )		(0)	0
負 傷 者 (人)	38	30	8
建 物	30	23	7
林 野	1	1	0
車 両	2	2	0
船 舶	1	0	1
そ の 他	4	4	0
出 火 率 (人口1万人に対する出火件数)	2.25	1.97	

令和3年人口：令和3年3月31日現在の住民基本台帳人口による。

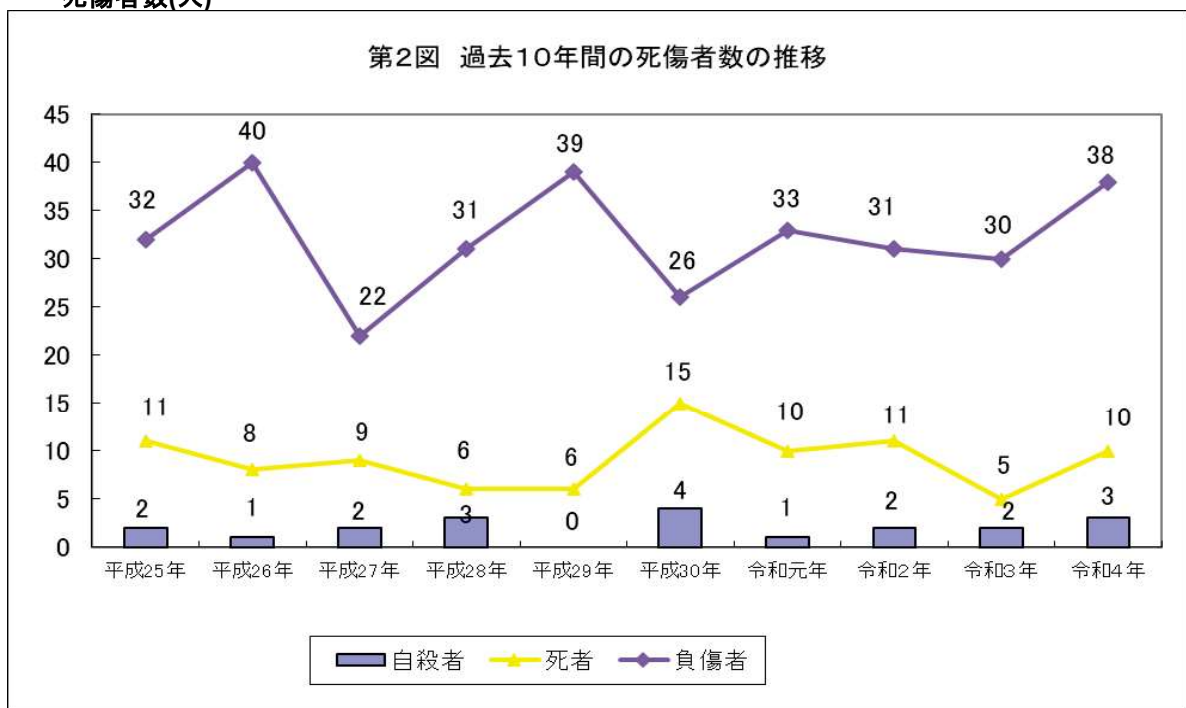
令和4年人口：令和4年3月31日現在の住民基本台帳人口による。



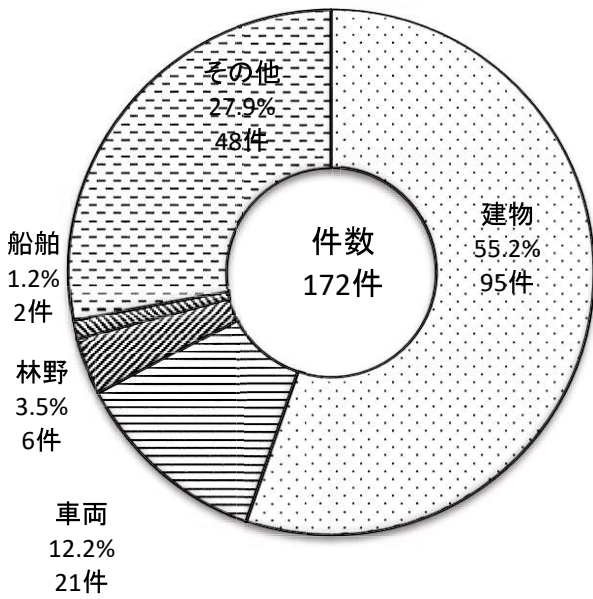
損害額(億円)



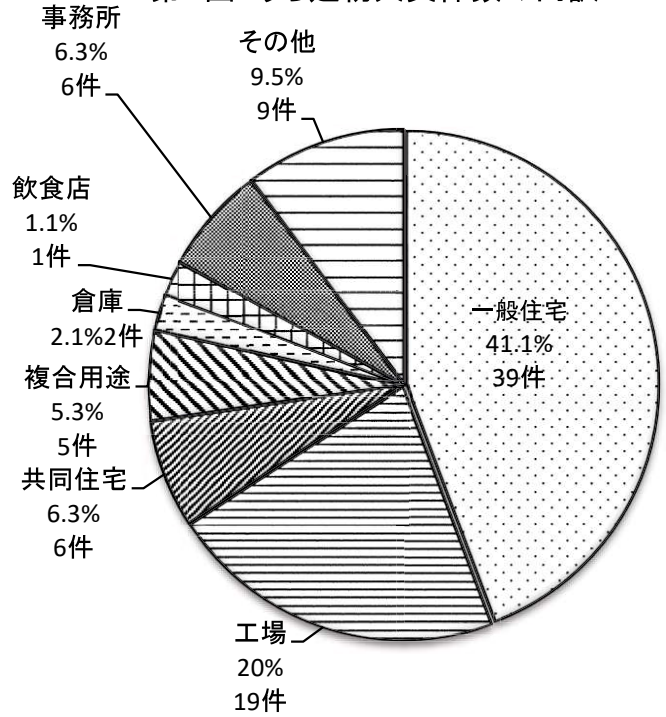
死傷者数(人)



第3図 火災発生件数の内訳



第4図 うち建物火災件数の内訳

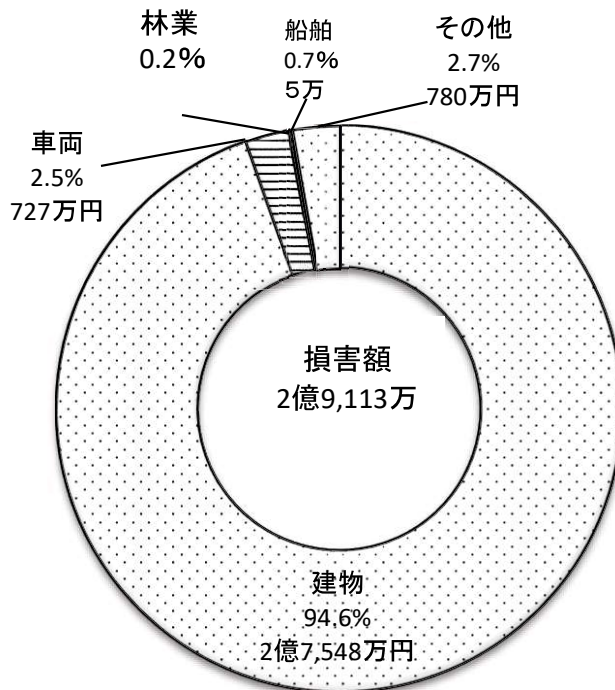


□建物 □車両 □林野 □船舶 □その他

□一般住宅  
 □共同住宅  
 □倉庫  
 □事務所等

□工場  
 □複合用途(特定)  
 □飲食店  
 □その他

第5図 損害額の内訳



□建物 □車両 □林野 □船舶 □爆発 □その他

第3表 令和4年月別火災発生状況表

月	出火件数(件)				焼損棟数(棟)				焼損面積		り災世帯数(世帯)			り災人員(人)	死( ) 内は放火自殺者(人)	負傷者(人)	損害額(千円)											
	合計	建物	林野	車両	船舶	その他	合計	全焼	半焼	部分焼	建物(m <sup>2</sup> )	林野(a)	合計				全	半	小	合計	建物	林野	車両	船舶	その他	爆発		
1	12	9		2		1	26	6	0	9	11	658	0	19	4	0	15	57	0	(0)	11	42,378	41,355	0	885	0	138	0
2	10	8			1	1	9	1	0	2	6	338	0	5	1	0	4	7	1	(1)	2	26,664	26,610	0	0	50	4	0
3	23	17	1	3		2	23	6	0	9	8	865	2	16	2	1	13	34	2	(0)	4	23,923	21,472	18	2,425	0	8	0
4	23	6	2	2		13	9	1	2	3	3	192	29	4	1	2	1	8	1	(0)	5	13,128	12,487	519	115	0	7	0
5	14	6	1	1		6	10	4	1	2	3	530	1	7	3	1	3	15	0	(0)	5	33,657	33,329	0	148	0	180	0
6	16	6	2	2		6	7	2	0	2	3	251	50	3	1	0	2	6	1	(1)	4	6,730	6,346	0	86	0	298	0
7	12	7			1	4	8	2	0	1	5	246	0	0	0	0	0	0	0	(0)	2	8,031	6,479	0	0	1	1,551	0
8	10	6		3		1	6	1	0	1	4	144	0	2	0	0	2	2	0	(0)	0	15,036	13,515	0	1,521	0	0	0
9	12	3		4		5	3	0	0	0	3	0	0	1	0	0	1	1	(0)	1	6,897	0	0	1,709	0	5,188	0	
10	13	7		1		5	8	3	1	2	2	507	0	2	1	0	1	2	1	(0)	1	29,043	28,548	0	158	0	337	0
11	9	6		1		2	11	1	1	4	5	174	0	8	1	1	6	13	1	(0)	2	17,456	17,456	0	0	0	0	0
12	18	14		2		2	17	5	2	2	8	765	0	8	3	1	4	22	2	(1)	1	68,191	67,881	0	225	0	85	0
計	172	95	6	21	2	48	137	32	7	37	61	4,670	82	75	17	6	52	167	10	3	38	291,134	275,478	537	7,272	51	7,796	0

第4表 市町別火災発生状況表

期間：令和4年1月1日～令和4年12月31日

区分	出火件数(件)						焼損棟数(棟)			り災世帯数(世帯)			り災人員(人)			死傷者数(人)			焼損面積					損害額(千円)					
	建物	林野	車両	船舶	航空機	その他	全焼	部分焼	ほぼ全焼	計	全損	半損	小損	死者	負傷者	建物床(m <sup>2</sup> )	建物表(m <sup>2</sup> )	林野(a)	合計	建物	林野	車両	船舶	その他	爆発				
福井市	38	18	1	6	0	0	13	26	4	1	8	13	17	4	1	12	38	2	9	1,005	19	2	57887	18	2,239	0	587	0	
敦賀市	15	8	0	2	1	0	4	14	2	1	4	7	8	0	1	7	21	1	2	165	23	0	17779	0	144	50	0	0	
小浜市	6	3	1	0	0	0	2	5	4	0	0	1	2	1	0	1	3	0	1	464	0	2	7616	0	0	0	1,528	0	
大野市	7	3	1	2	0	0	1	3	0	0	2	1	1	0	0	1	1	0	1	0	2,353	24	8,339	0	323	0	0	0	
勝山市	6	3	1	1	0	0	1	7	3	3	0	1	5	3	2	0	8	2	0	593	0	51	33786	519	350	0	0	0	
鯖江市	23	17	1	2	0	0	3	32	5	0	13	14	20	4	0	16	44	3	10	864	121	2	54304	0	2,382	0	7	0	
あわら市	7	4	0	0	0	0	3	6	2	0	1	3	5	1	1	3	12	0	3	210	0	0	6596	0	0	0	20	0	
越前市	17	12	0	2	0	0	3	12	2	0	3	7	6	1	0	5	11	1	3	203	4	0	6462	0	201	0	86	0	
坂井市	15	5	1	3	1	0	5	6	2	0	0	4	1	0	0	1	4	0	4	1	0	1	3132	0	1,613	1	5,315	0	
市計	134	73	6	18	2	0	35	111	24	5	31	51	65	14	5	46	142	9	33	3,505	2,520	82	210,961	537	7,252	51	7,543	0	
永平寺町	3	1	0	1	0	0	1	1	1	1	0	0	1	1	0	0	2	0	0	208	0	0	43880	0	20	0	0	0	
池田町	3	2	0	0	0	0	1	4	3	0	0	1	0	0	0	0	0	0	0	326	0	0	6581	0	0	0	0	0	
南越前町	4	2	0	1	0	0	1	4	2	0	1	1	3	2	0	1	5	1	3	293	6	0	6584	0	0	0	5	0	
越前町	10	7	0	1	0	0	2	7	1	1	3	2	5	0	1	4	17	0	2	62	26	0	15,931	0	0	0	0	0	
美浜町	5	4	0	0	0	0	1	3	0	0	1	2	1	0	0	1	1	0	0	40	7	0	1,538	0	0	0	0	0	
高浜町	2	2	0	0	0	0	2	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	
おおい町	1	1	0	0	0	0	1	0	1	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	187	0	0	0	0	0	
若狭町	10	3	0	0	0	0	7	4	1	1	1	1	0	0	0	0	0	0	0	236	0	0	5,452	0	0	0	249	0	
(内訳)																													
旧三方町	5	2	0	0	0	0	3	2	0	1	0	1	0	0	0	0	0	0	0	107	0	0	2,520	0	0	0	66	0	
旧上中町	5	1	0	0	0	0	4	2	1	0	1	0	0	0	0	0	0	0	0	129	0	0	2,932	0	0	0	183	0	
町計	38	22	0	3	0	0	13	26	8	2	6	10	10	3	1	6	25	1	5	1,165	39	0	80,173	0	20	0	254	0	
県計	172	95	6	21	2	0	48	137	32	7	37	61	75	17	6	52	167	10	38	4,670	2,559	82	291,134	537	7,272	51	7,797	0	

若狭町は、旧三方町と旧若狭町では消防の管轄が異なるため、内訳を記載

第5表 市町別月別火災発生件数、損害額および出火率

期間：令和4年1月1日～令和4年12月31日

区分	総計		1月		2月		3月		4月		5月		6月		7月		8月		9月		10月		11月		12月		出火率 (人口 1万人に 対する 出火件数)	
	件数	損害額 (千円)	件数	損害額 (千円)	件数	損害額 (千円)	件数	損害額 (千円)	件数	損害額 (千円)	件数	損害額 (千円)	件数	損害額 (千円)	件数	損害額 (千円)	件数	損害額 (千円)	件数	損害額 (千円)	件数	損害額 (千円)	件数	損害額 (千円)	件数	損害額 (千円)		
福井市	38	60,731	0	0	2	18,809	8	3,210	4	1,242	7	27,664	1	54	2	10	3	17	3	1	2	337	1	711	5	8,676	1.46	
敦賀市	15	17,973	1	5,552	2	98	1	5,233	2	0	2	5,952	0	0	1	795	1	6	2	144	2	193	0	0	1	0	2.32	
小浜市	6	9,144	0	0	0	0	1	4,345	1	0	0	0	0	0	1	1,528	1	3,271	0	0	0	0	0	0	0	0	2.08	
大野市	7	8,339	0	0	2	7,617	0	0	1	0	0	0	1	0	0	0	0	0	1	165	2	557	0	0	0	0	2.18	
勝山市	6	34,655	1	495	0	0	0	0	3	11,662	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	15,303	0	0	1	7,195	2.68	
鯖江市	23	56,693	3	31,500	1	0	4	4,919	2	102	1	7	3	60	2	2	2	8,419	2	7	0	0	2	10,084	1	1,593	3.32	
あわら市	7	6,616	2	4,249	0	0	1	2,365	1	0	0	0	0	0	0	0	0	0	2	0	0	0	0	0	1	2	2.54	
越前市	17	6,749	1	381	1	27	1	1,154	1	115	2	34	2	111	3	875	1	183	0	0	2	2	1	0	2	3,867	2.06	
坂井市	15	10,061	3	200	0	0	1	142	3	2	1	0	2	3	2	13	1	3,120	1	6,581	0	0	0	0	1	0	1.66	
市計	134	210,961	11	42,377	8	26,551	17	21,368	18	13,123	13	33,657	9	228	11	3,223	9	15,016	11	6,898	9	16,392	6	10,795	12	21,333	1.98	
永平寺町	3	43,900	0	0	0	0	0	0	1	0	0	0	0	0	0	0	1	20	0	0	0	0	0	0	1	43,880	1.64	
池田町	3	6,581	0	0	0	0	0	0	1	0	0	0	1	1,773	1	4,808	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	12.36	
南越前町	4	6,584	0	0	0	0	1	2,311	1	5	0	0	1	4,268	0	0	0	0	0	0	0	0	1	0	0	0	3.92	
越前町	10	15,931	0	0	1	101	2	228	2	0	0	0	1	217	0	0	0	0	0	0	2	8,789	1	6,553	1	43	4.79	
美浜町	5	1,538	0	0	1	12	1	7	0	0	1	0	0	0	0	0	0	0	0	0	1	1,411	1	108	0	0	5.45	
高浜町	2	0	1	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	1	0	1.97	
おおい町	1	187	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	1	187	1.23	
若狭町	10	5,452	0	0	0	0	2	9	0	0	0	0	4	244	0	0	0	0	1	0	1	2,450	0	0	2	2,749		
(内訳)																												
旧三方町 警察署・消防署	5	2,520	0	0	0	0	1	4	0	0	0	0	1	66	0	0	0	0	1	0	1	2,450	0	0	1	0	6.97	
旧上中町 警察署	5	2,932	0	0	0	0	1	5	0	0	0	0	3	178	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	1	2,749		
町計	38	80,173	1	0	2	113	6	2,555	5	5	1	0	7	6,502	1	4,808	1	20	1	0	4	12,650	3	6,661	6	46,859	4.06	
県計	172	291,134	12	42,377	10	26,664	23	23,923	23	13,128	14	33,657	16	6,730	12	8,031	10	15,036	12	6,898	13	29,042	9	17,456	18	68,192	2.23	

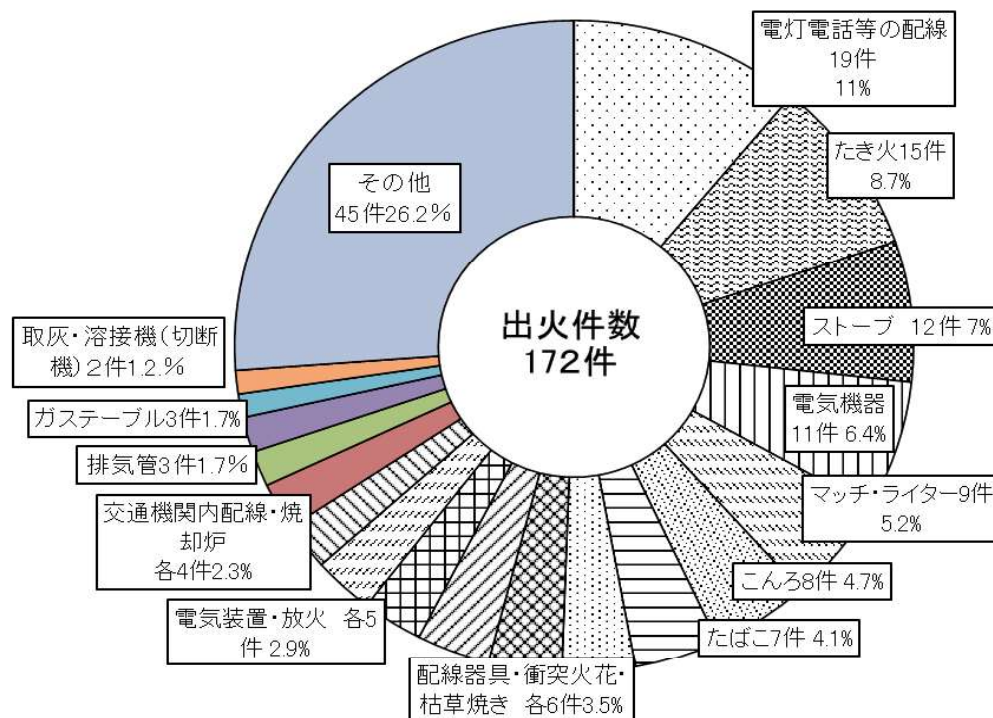
若狭町は、旧三方町と旧若狭町では消防の管轄が異なるため、内訳を記載した。  
出火率(人口1万人に対する出火件数)は、令和3年3月31日現在の住民基本台帳人口により算定

第6表 全火災の出火原因別損害状況表

期間:令和4年1月1日～令和4年12月31日

出火原因	出火件数(件)	焼損床面積(㎡)	焼損棟数(棟)	り災世帯数(世帯)	損害額(千円)
電灯電話等の配線	19	776	6	11	105,184
たき火	15	7	1	0	579
ストーブ	12	517	10	14	39,533
電気機器	11	0	0	2	9,356
マッチ・ライター	9	14	0	2	1,211
こんろ	8	220	7	8	13,475
たばこ	7	2	0	4	227
配線器具	6	250	0	2	15,882
衝突の火花	6	0	0	0	1,790
枯草焼き	6	0	0	0	420
電気装置	5	0	0	0	1,930
放火	5	14	0	2	1,211
交通機関内配線	4	0	0	0	155
焼却炉	4	0	0	0	539
排気管	3	0	1	0	273
ガステーブル	3	4	0	2	226
取灰	2	1	0	0	0
溶接機・切断機	2	0	0	0	0
その他	45	1,813	17	30	100,329
不明・調査中					
合計	172	3,614	42	75	291,135

第6図 全火災の出火原因別状況



第7表 死者の死因別発生状況表

死因 火災種別	一酸化炭素 中毒・窒息	火傷	打撲・骨折 等	自殺	その他	不明	合計(人)
建 物 火 災	5	3	0	0	0	0	8
林 野 火 災	0	0	0	0	0	0	0
車 両 火 災	0	0	0	0	0	0	0
そ の 他 火 災	0	1	0	1	0	0	2
合 計 ( 人 )	5	4	0	1	0	0	10

第8表 死者の経過別および年齢別発生状況表

経過別 年齢別(歳)	0 ～ 5	6 ～ 10	11 ～ 20	21 ～ 30	31 ～ 40	41 ～ 50	51 ～ 60	61 ～ 64	65 ～ 70	71 ～ 80	81～	不明	合計 (人)
熟睡等により発見遅れる													0
判断力・体力条件のため											1		1
人の救助のため逃げる機会を失う							2						2
身体不自由のため逃げきれず									1	2			3
放火自殺							1		2				3
不明・調査中							1						1
合計(人)	0	0	0	0	0	0	4	0	0	3	3	0	10

## 第3章 救急業務の実態

### 1 救急体制

災害により生じた事故または屋外もしくは公衆の出入りする場所、あるいは屋内において生じた事故で、迅速に搬送する手段がない場合に傷病者を医療機関等へ搬送する業務が救急業務であるが、令和5年4月1日現在、第1表のとおり、救急自動車57台(全て高規格救急自動車)、救急隊49隊、救急隊員570名(うち救急救命士246名)で救急業務にあたっている。

### 2 救急医療体制

救急隊が搬送する傷病者を受け入れる救急告示医療機関数は、令和5年4月1日現在、第2表のとおり50施設である。

### 3 救急活動状況

救急活動状況を表したのが第3表であり、救急出場件数は32,231件、搬送人員は29,977人となっている。県内1日あたりの出場件数は88件となり、約16分に1回の割合で救急隊が出場したことになる。

過去10年間の出場件数および搬送人員の推移を表したのが第1図であり、出場件数、搬送人員ともに平成30年まで増加傾向にあったが、令和元年は災害や猛暑日が少なく平成30年との比較で3%減少した。さらに、令和2年には新型コロナウイルスの感染拡大による外出自粛等の影響で救急需要が大幅に減少したことから、令和元年との比較で13%減少し、出場件数と搬送人員が過去10年で最少となった。一方で、令和3年は、活動の制限が緩和されたことに伴って救急需要も増加し、令和2年との比較で10%増加した。さらに、令和4年は、令和3年との比較で12%増加し、出場件数と搬送人員が過去10年で最多となった。

出場件数、搬送人員の事故種別内訳を表したのが第2図、第3図であり、出場件数の事故種別内訳では、急病が20,946件で、全体の65%を占め、次いで一般負傷5,133件(15.9%)、交通事故1,984件(6.2%)などとなっている。搬送人員では急病が19,426人で全体の64.8%を占め、次いで一般負傷4,855人(16.2%)、交通事故1,983人(6.6%)などとなっている。



第1表 救急体制状況表

令和5年4月1日現在

消防本部名	救急自動車			救急隊員						救急隊
	高規格救急車	通常型	合計	専任		兼任		合計		合計
				救急救命士		救急救命士		救急救命士		
福井市	11	0	11	87	60	8	0	95	60	9
大野市	4	0	4			45	16	45	16	4
勝山市	3	0	3			28	10	28	10	2
永平寺町	3	0	3			34	13	34	13	2
嶺北消防組合	8	0	8			107	39	107	39	8
鯖江・丹生消防組合	7	0	7			93	33	93	33	6
南越消防組合	8	0	8			71	22	71	22	8
敦賀美方消防組合	6	0	6	12	9	25	18	37	27	5
若狭消防組合	7	0	7	7	5	53	21	60	26	5
合計	57	0	57	106	74	464	172	570	246	49

第2表 医療機関状況表

令和5年4月1日現在

告示別	種別	国・公立	公的	私的		合計
				病院	診療所	
救急告示医療機関		8	4	28	10	50
その他の医療機関		15	7	18	431	471
合計		23	11	46	441	521

第3表 救急活動状況表

(令和4年中)

	合計	火災	自然災害	水難	交通	労働災害	運動競技	一般負傷	加害	自行損傷	急病	その他
救急出場件数	32,231	83	1	49	1,984	347	202	5,133	68	238	20,946	3,180
搬送人員	29,977	32	1	19	1,983	334	195	4,855	62	166	19,426	2,904

第4表 高速自動車道における救急活動状況表

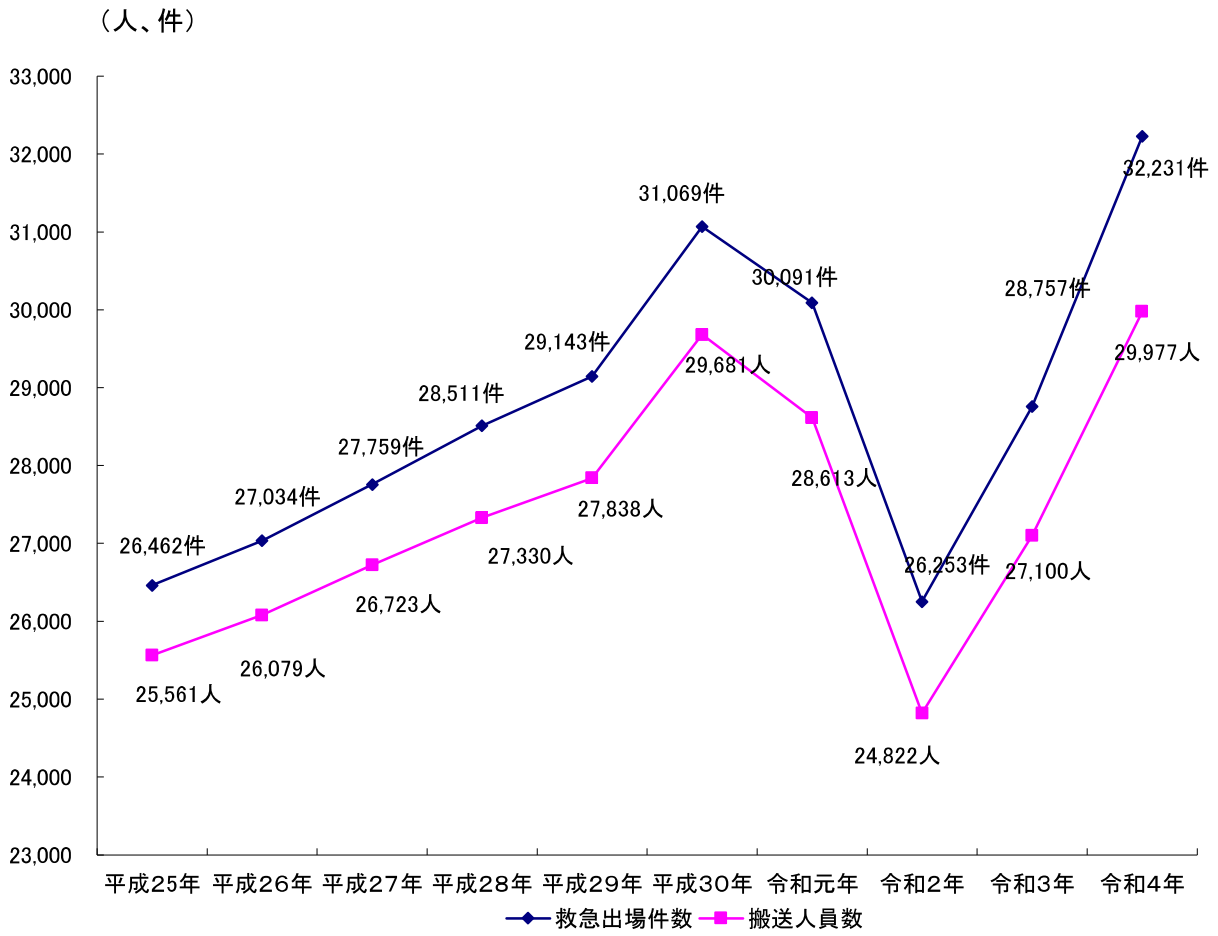
(令和4年中)

高速道路名	北陸自動車道										小計	
担当消防本部名	嶺北消防組合消防本部				福井市消防局		鯖江・丹生消防組合消防本部		南越消防組合消防本部			敦賀美方消防組合消防本部
I C 名	金津	丸岡	福井北	福井	鯖江	武生	今庄	敦賀				
救急出動数	4	10	0	1		5	22	8			15	65
搬送人員	3	10	0	1		4	21	9			14	62

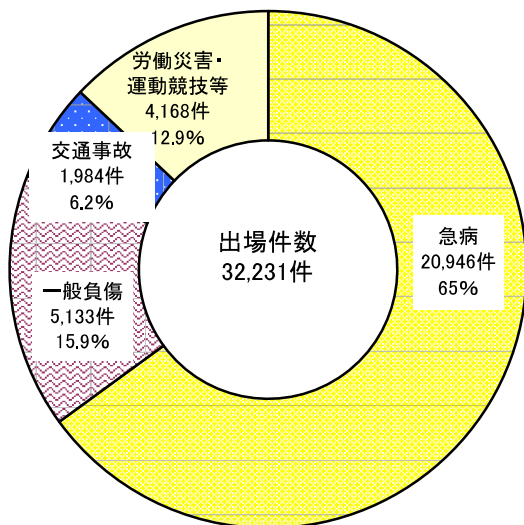
  

高速道路名	舞鶴若狭自動車道										小計	計
担当消防本部名	敦賀美方消防組合消防本部					若狭消防組合消防本部						
I C 名	敦賀南	舞鶴美浜	若狭三方	三方五湖	三方五湖	若狭上中	小浜	小浜西	大飯高浜			
救急出動数	0	1	0	1	0	0	4	0	2		8	73
搬送人員	0	1	0	1	0	0	3	0	1		6	68

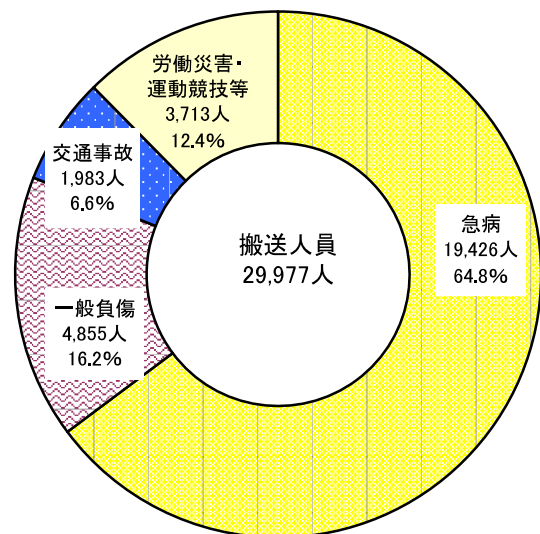
第1図 過去10年間の救急活動の推移



第2図 出場件数の事故種別内訳



第3図 搬送人員の事故種別内訳



## 第4章 予防行政の概況

### 1 防火対象物定期点検報告制度

不特定多数の人が出入りするなど一定の防火対象物について、所有者や賃借人等のうち管理について権原を有する人が、火災予防のために資格者による定期点検を行い、その結果を消防機関へ報告する制度である。

この制度による令和4年4月1日から令和5年3月31日までの状況は第1表のとおりである。

第1表 防火対象物定期点検報告制度実施状況表

防火対象物の区分			点検を要する防火対象物数		点検報告済防火対象物数		特例認定済防火対象物数	
			第1号該当	第2号該当	第1号該当	第2号該当	第1号該当	第2号該当
1	イ	劇場、映画館、演芸場または観覧場	32		12		8	
	ロ	公会堂または集会場	220		116		56	
2	イ	キャバレー、カフェー、ナイトクラブその他これらに類するもの						
	ロ	遊技場またはダンスホール	54		32		9	
	ハ	性風俗関連特殊営業を営む店舗等						
	ニ	カラオケボックス等	2	1	2			
3	イ	待合、料理店その他これらに類するもの	2	4	1	3		
	ロ	飲食店	5	30	4	15		
4		百貨店、マーケットその他の物品販売業を営む店舗または展示場	194	14	138	6	4	1
5	イ	旅館、ホテル、宿泊所その他これらに類するもの	37	79	20	22	8	27
6	イ	病院、診療所または助産所	37	9	16		9	4
	ロ	老人短期入所施設、養護老人ホーム、精神障害者社会復帰施設等	7	5	3	4	3	
	ハ	老人デイサービスセンター、老人福祉センター、精神障害者社会復帰施設（軽微）等	2	2	2	2		
	ニ	幼稚園または特別支援学校	201	32	108	7	26	1
9	イ	公衆浴場のうち、蒸気浴場、熱気浴場その他これらに類する公衆浴場						
16	イ	複合用途防火対象物のうち、その一部が上記に該当する用途に供されているもの	801	178	455	60	124	33
16の2		地下街						
合計			1,594	354	909	119	247	66

#### 【備考】

- 点検報告済防火対象物とは、1年に1回、防火対象物点検資格者による点検報告が必要なもので、点検の結果、点検基準に適合していると認められた防火対象物。「防火基準点検済証」を表示することができる。
- 特例認定済防火対象物とは、一定の要件を満たしているもので、申請によって点検報告の義務が3年間免除される防火対象物「防火優良認定証」を表示することができる。
- 第1号該当とは、収容人員が300人以上の防火対象物
- 第2号該当とは、収容人員が30人以上300人未満の防火対象物で次の要件に該当する防火対象物
  - 特定用途部分が地階または3階以上に存するもの（避難階は除く）
  - 階段が2以上設けられていないもの
- 調査基準日…令和5年3月31日
- 調査期間……令和4年4月1日～令和5年3月31日

## 2 消防設備士試験および講習の状況

消防設備士は、甲種・乙種合わせて617人の受験者に対して236人が合格し、合格率は38.25%であった。その状況は第2表のとおりである。

また、免状所有者に対する義務講習は650人が受講した。その状況は第3表のとおりである。

### 第2表 消防設備士試験実施状況表

区 分	令和4年度								免状交付延べ数	
	受験者数(人)		合格人数(人)		合格率(%)		免状交付数			
	甲種	乙種	甲種	乙種	甲種	乙種	甲種	乙種	甲種	乙種
特 類	3		0		0.0%		0		19	
第1類	56	23	17	8	30.4%	34.8%	18	8	1,340	366
第2類	18	8	2	5	11.1%	62.5%	2	4	386	118
第3類	23	13	6	4	26.1%	30.8%	7	3	331	78
第4類	144	79	42	28	29.2%	35.4%	43	24	3,017	1,260
第5類	18	8	9	3	50.0%	37.5%	9	3	351	138
第6類		154		67		43.5%		70		2,496
第7類		70		45		64.3%		70		3,506
計	262	355	76	160	29.0%	45.1%	79	182	5,444	7,962

### 第3表 消防設備士法定講習実施状況表

区 分	受 講 対 象 者 区 分	受講者数(人)	実 施 年 月 日
消 火 設 備	(甲・乙)第1類, 第2類, 第3類 消防設備士	128	令和4年7月26日(火)
避難設備・消火器	(甲・乙)第5類, (乙)第6類 消防設備士	187	令和4年7月27日(水) 令和4年8月24日(水)
警 報 設 備	(甲・乙)第4類, (乙)第7類 消防設備士	335	令和4年7月28日(木) 令和4年7月29日(金) 令和4年8月25日(木) 令和3年8月20日(金)
合 計		650	

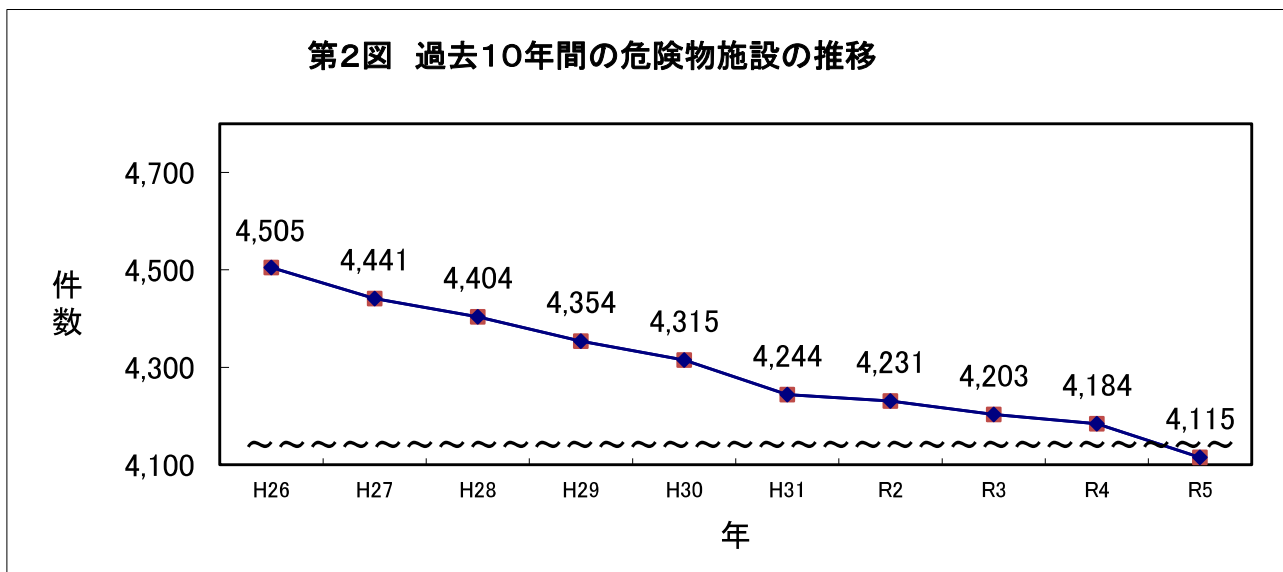
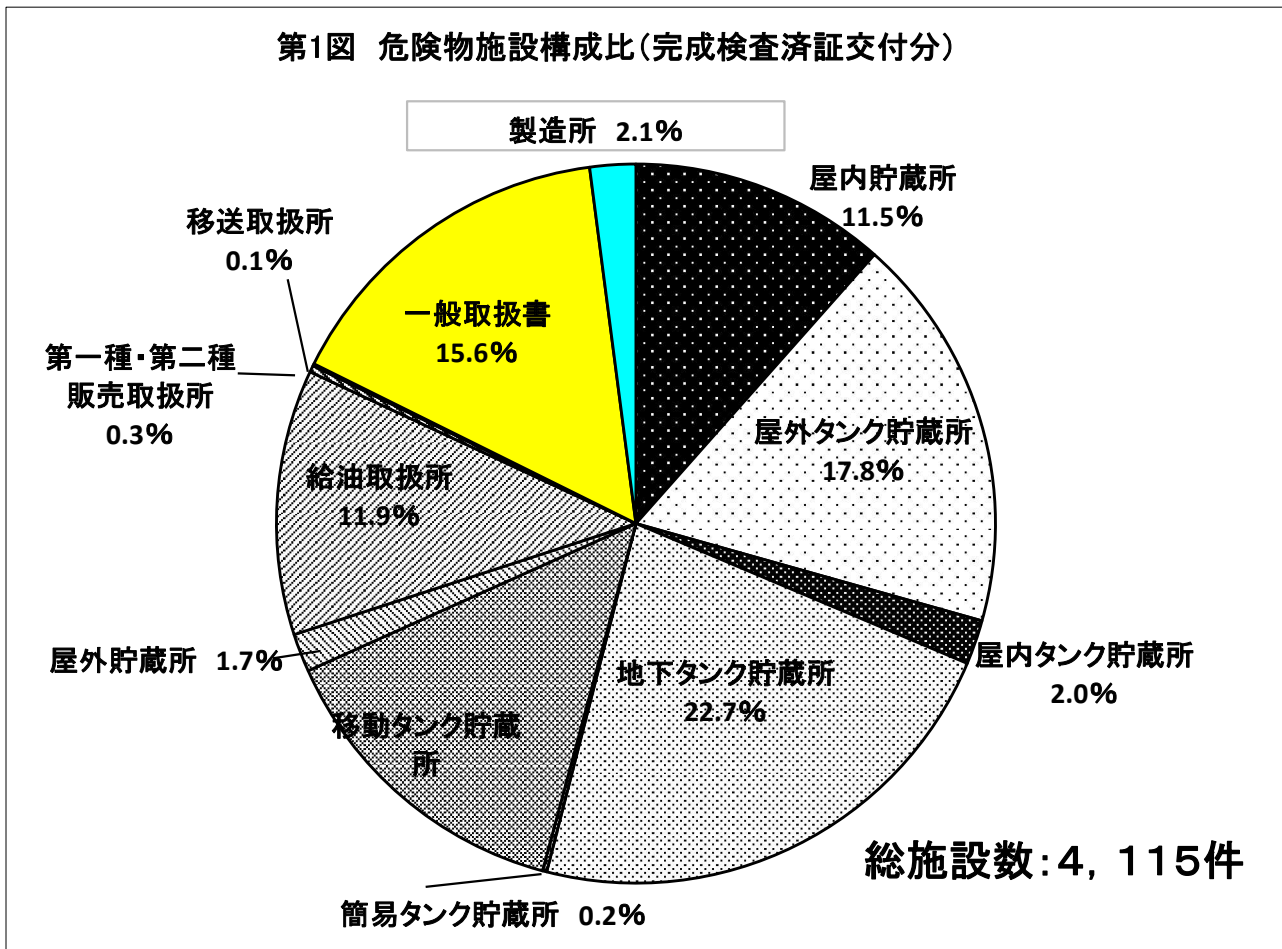
## 第5章 危険物規制

### 1 概況

(1) 危険物規制は、福井市、大野市、勝山市および永平寺町においては当該市町が、またその他の市町においてはそれぞれの加入する消防組合が行なっている。

なお、県内の総施設数は第1図のとおりである。(令和5年3月31日現在)

(2) 危険物の総施設数の推移は第2図のとおり減少傾向であり、前年に対し69件減少している。



第1表 施設別危険物施設数

令和5年3月31日現在

危険物施設の別 消防本部名	製 造 所 (A)	貯 蔵 所										取 扱 所					合 計 (A + B + C)	事 業 所	
		屋 内 貯 蔵 所	屋 外 タ ン ク 貯 蔵 所	準 特 定 屋 外 タ ン ク 貯 蔵 所		屋 内 タ ン ク 貯 蔵 所	地 下 タ ン ク 貯 蔵 所	簡 易 タ ン ク 貯 蔵 所	移 動 タ ン ク 貯 蔵 所	屋 外 貯 蔵 所	小 計 (B)	給 油 取 扱 所	第 一 種 販 売 取 扱 所	第 二 種 販 売 取 扱 所	移 送 取 扱 所	一 般 取 扱 所			小 計 (C)
				特 定 屋 外 タ ン ク 貯 蔵 所	特 定 屋 外 タ ン ク 貯 蔵 所														
福 井 市	26	109	192	5	20	27	248	1	160	18	755	125	8	0	1	136	270	1,051	496
大 野 市	0	8	16	0	0	0	49	0	31	0	104	20	0	0	0	28	48	152	92
勝 山 市	3	9	24	0	0	1	43	0	13	2	92	16	0	0	0	20	36	131	76
永 平 寺 町	0	5	4	0	0	2	19	0	12	0	42	6	0	0	0	11	17	59	35
嶺北消防組合	35	108	189	3	34	12	158	1	106	20	594	83	0	0	2	166	251	880	296
鯖江・丹生消防組合	5	59	51	0	0	4	103	0	45	8	270	42	0	3	0	46	91	366	274
南越消防組合	13	74	107	0	0	12	113	2	74	10	392	62	0	0	0	73	135	540	235
敦賀美方消防組合	1	54	98	7	8	15	122	0	86	10	385	87	0	0	1	97	185	571	217
若狭消防組合	2	49	52	0	0	9	77	4	53	3	247	50	1	0	0	65	116	365	154
合 計	85	475	733	15	62	82	932	8	580	71	2,881	491	9	3	4	642	1,149	4,115	1,875

- 注：1 貯蔵所および取扱所の区分は危険物の規制に関する政令の区分による（以下の表においても同様）。
- 2 本表には、設置を許可した施設のうち、完成検査済証を交付した施設数から廃止届を受理した施設数を除いた数を記載（以下の表においても同様）
- 3 準特定屋外タンク貯蔵所には、屋外タンク貯蔵所のうち、貯蔵し、または取り扱う液体の危険物の最大数量が五百キロリットル以上千キロリットル未満のものを記載（以下の表においても同様）
- 4 特定屋外タンク貯蔵所数は、屋外タンク貯蔵所のうち、貯蔵し、または取り扱う液体の危険物の最大数量が千キロリットル以上のものを記載（以下の表においても同様）
- 5 事業所数は、危険物施設を有する事業所の数を記載

第2表 指定数量別および類別危険物施設数

令和5年3月31日現在

危険物施設の別 数量別・類別	製造所 (A)	貯蔵所									取扱所						合計 (A+B+C)		
		屋内貯蔵所	屋外タンク貯蔵所	準特定屋外タンク貯蔵所	特定屋外タンク貯蔵所	屋内タンク貯蔵所	地下タンク貯蔵所	簡易タンク貯蔵所	移動タンク貯蔵所	屋外貯蔵所	小計 (B)	給油取扱所	第一種販売取扱所	第二種販売取扱所	移送取扱所	一般取扱所		小計 (C)	
5倍以下	5	212	120			55	475	8	436	15	1,321	34	3			272	309	1,635	
5倍を超えて10倍以下	12	97	94			22	219		13	28	473	52	4			160	216	701	
10 " 50 "	32	87	251			5	161		27	27	558	130	2	3		124	259	849	
50 " 100 "	18	20	88				36		77	2	223	66				38	104	345	
100 " 150 "	3	32	49				24		26		131	48				14	62	196	
150 " 200 "		9	9	1			7			1	26	56				10	66	92	
200 " 1,000 "	15	15	58	9	3		10		1		84	104				17	121	220	
1,000 " 5,000 "		3	22	5	17						25	1				3	4	29	
5,000 " 10,000 "			3		3						3					2	2	5	
10,000倍を超えるもの			39		39						39				2	2	4	43	
合計	85	475	733	15	62	82	932	8	580	73	2,883	491	9	3	2	642	1,147	4,115	
単独	第1類		6								6							6	
	第2類	1	4						1		5					5	5	11	
	第3類		3						579		582					5	5	587	
	第4類	56	417	729	15	62	82	932	8		72	2,240	491	9	3	2	611	1,116	3,412
	第5類		14	2								16							16
	第6類			2								2							2
混在	28	31								1	32					21	21	81	
合計	85	475	733	15	62	82	932	8	580	73	2,883	491	9	3	2	642	1,147	4,115	

注：1 数量別の欄は、危険物施設で貯蔵または取り扱う危険物の最大数量（許可数量）を指定数量の倍数によって表したものである。  
 2 類別の欄の単独には、類を同じくする危険物のみを貯蔵または取り扱っている危険物施設の数、混在には、類を異にする危険物を貯蔵または取り扱っている危険物施設の数に記載

第3表 危険物施設に対する立入検査状況

令和4年4月 1日から  
令和5年3月31日まで

危険物施設の別 製造所 (A)		貯蔵所								取扱所					合計 (A+B+C)		
		屋内貯蔵所	屋外タンク貯蔵所	屋内タンク貯蔵所	地下タンク貯蔵所	簡易タンク貯蔵所	移動タンク貯蔵所	屋外貯蔵所	小計 (B)	給油取扱所	第一種販売取扱所	第二種販売取扱所	移送取扱所	一般取扱所		小計 (C)	
消防本部名	検査施設数	24	42	169	8	102		159	17	497	88	1		1	133	223	744
	延回数	35	43	175	9	103		160	18	508	92	1		1	138	232	775
福井市	検査施設数							31		31	3					3	34
	延回数							31		31	3					3	34
大野市	検査施設数	3	6	13		22		14	2	57	9				14	23	83
	延回数	3	6	13		22		14	2	57	9				14	23	83
勝山市	検査施設数		5	4	5	19		13		46	6				11	17	63
	延回数		5	4	2	19		13		43	6				11	17	60
永平寺町	検査施設数	10	29	77	1	45		100	10	262	52			1	60	113	385
	延回数	10	29	77	1	45		100	10	262	54			1	60	115	387
嶺北消防組合	検査施設数	5	61	42	5	18			8	134	40		3		32	75	214
	延回数	5	61	42	5	18			8	134	40		3		32	75	214
鯖江・丹生消防組合	検査施設数		12	37	3	17		64	2	135	12				10	22	157
	延回数		12	37	3	17		65	2	136	12				10	22	158
南越消防組合	検査施設数	1	25	72	7	27		76	5	212	73			1	59	133	346
	延回数	1	25	72	7	27		76	5	212	73			1	59	133	346
敦賀美方消防組合	検査施設数	2	30	44	11	29	2	47		163	34				32	66	231
	延回数	2	30	44	11	29	2	47		163	34				32	66	231
若狭消防組合	検査施設数	45	210	458	40	279	2	504	44	1,537	317	1	3	3	351	675	2,257
	延回数	56	211	464	38	280	2	506	45	1,546	323	1	3	3	356	686	2,288
合計	検査施設数	45	210	458	40	279	2	504	44	1,537	317	1	3	3	351	675	2,257
	延回数	56	211	464	38	280	2	506	45	1,546	323	1	3	3	356	686	2,288

注：1 検査施設数の欄は、立入検査を行った施設数を危険物施設の区分ごとに記載  
2 延回数の欄は、立入検査を行った延回数を危険物施設の区分ごとに記載



第4表の1 容量別屋外タンク貯蔵所数

令和5年3月31日現在

消防本部名 容量別	福	大	勝	永	嶺	鯖	南	敦	若	合
	井	野	山	平	北	江・丹	越	賀	狭	計
	市	市	市	町	消	生	消	美	消	
					防	消	防	方	防	
					組	防	組	消	組	
					合	組	合	防	合	
					合	合	合	組	合	
								合		
合計	192	16	24	4	189	51	107	98	52	733
100kl未満	150	16	24	4	133	34	97	60	46	564
100kl～500kl未満	17	0	0	0	19	17	10	23	6	92
500kl～1,000kl未満	5	0	0	0	3	0	0	7	0	15
1,000kl～5,000kl未満	0	0	0	0	19	0	0	8	0	27
5,000kl～10,000kl未満	0	0	0	0	2	0	0	0	0	2
10,000kl～50,000kl未満	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
50,000kl～100,000kl未満	0	0	0	0	3	0	0	0	0	3
100,000kl以上	20	0	0	0	10	0	0	0	0	30

第4表の2 品名別屋外タンク貯蔵所数

令和5年3月31日現在

品名別 容量別	第4類											第4類以外の類(B)	合計(A+B)
	原	ナ	ガ	灯	軽	重	第	ア	そ	小	計		
	油	フ	ソ	油	油	油	4	ル	の	計			
		サ	リ				石	コ	他	(A)			
			ン				油	ール					
							類	類					
合計	33	0	8	75	55	210	30	59	259	729	4	733	
100kl未満	0	0	0	68	34	154	21	59	224	560	4	564	
100kl～500kl未満	0	0	0	3	16	39	9	0	25	92	0	92	
500kl～1,000kl未満	3	0	1	0	1	7	0	0	3	15	0	15	
1,000kl～5,000kl未満	0	0	7	2	4	7	0	0	7	27	0	27	
5,000kl～10,000kl未満	0	0	0	2	0	0	0	0	0	2	0	2	
10,000kl～50,000kl未満	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	
50,000kl～100,000kl未満	0	0	0	0	0	3	0	0	0	3	0	3	
100,000kl以上	30	0	0	0	0	0	0	0	0	30	0	30	

第5表 危険物取扱者試験実施状況

区 分 種 別		令和元年度 合格 率 ( % )	令和2年度 合格 率 ( % )	令和3年度 合格 率 ( % )	令和4年度		
					受 験 者 数 ( 人 )	合 格 者 数 ( 人 )	合 格 率 ( % )
甲 種		39.6	36.2	45.7	161	59	36.6
乙 種	第 1 類	68.3	63.2	67.4	96	65	67.7
	第 2 類	66.7	69.2	68.2	125	78	62.4
	第 3 類	70.2	70.3	75.1	153	112	73.2
	第 4 類	38.8	37.3	31.8	2,250	676	30.0
	第 5 類	71.9	70.1	75.0	137	93	67.9
	第 6 類	58.8	59.2	66.1	108	80	74.1
	小 計	46.5	45.5	41.6	2,869	1,104	38.5
丙 種		49.0	57.2	51.1	529	241	45.6
合 計		46.5	46.6	43.0	3,559	1,404	39.4

第6表 危険物取扱者保安講習実施状況

区 分 講習種別		令和元年度 受講者数 (人)	令和2年度 受講者数 (人)	令和3年度 受講者数 (人)	令和4年度	
					受講者数 (人)	講習実施回 数 (回)
給 油 取 扱 所		461	399	446	377	8
石 油 コ ン ビ ナ ー ト		51	45	37	25	1
そ の 他		1,584	1,580	1,789	1,165	10
合 計		2,096	2,024	2,272	1,567	19

- 注：1 「給油取扱所」は、給油取扱所において危険物の取扱作業に従事している危険物取扱者を対象とした講習種別である。
- 2 「石油コンビナート」は、石油コンビナート等災害防止法上の特定事業所における危険物施設において危険物の取扱作業に従事する危険物取扱者を対象とした講習種別である。
- 3 「その他」は、「給油取扱所」および「石油コンビナート」以外の危険物施設において危険物の取扱作業に従事する危険物取扱者を対象とした講習種別である。

## 2 危険物施設の火災および漏えい事故等

- (1) 過去5年間における危険物の災害事故発生件数は、令和3年が9件と最も多い。  
 (2) 過去5年間の危険物施設別の災害事故発生件数は、移動タンク貯蔵所での事故が9件と最も多い。

第7表 過去5年間の危険物施設における災害事故発生件数

年	危険物施設の別の別	製造所 (A)	貯蔵所							取扱所					その他 (D)	合計 (A+B+C+D)		
			屋内貯蔵所	屋外タンク貯蔵所	屋内タンク貯蔵所	地下タンク貯蔵所	簡易タンク貯蔵所	移動タンク貯蔵所	屋外貯蔵所	小計 (B)	給油取扱所	第一種販売取扱所	第二種販売取扱所	移送取扱所			一般取扱所	小計 (C)
平成30年	火災								0					1	1		1	
	漏えい							2	2	1					1		3	
	その他	1							0	1					1		2	
令和元年	火災	3							0						0		3	
	漏えい							3	3						0		3	
	その他							2	2						0		2	
令和2年	火災								0					1	1		1	
	漏えい							1	1					1	1		2	
	その他								0						0		0	
令和3年	火災	1							0					2	2		3	
	漏えい			1		1		1	3	1				1	2		5	
	その他								0	1					1		1	
令和4年	火災	1							0					1	1		2	
	漏えい			1					1					1	1		2	
	その他								0	1					1		1	
火災計		5	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	5	5	0	10
漏えい計		0	0	2	0	1	0	7	0	10	2	0	0	0	3	5	0	15
その他計		1	0	0	0	0	0	2	0	2	3	0	0	0	0	3	0	6
総計		6	0	2	0	1	0	9	0	12	5	0	0	0	8	13	0	31

注： 危険物施設の別の「その他」には、危険物運搬中の事故または無許可の危険物施設など、許可を受けている危険物施設以外での事故件数を記載

## 第6章 消防の概要

### 1 消防の組織〈消防機関と人員〉

昭和23年消防組織法施行後、市町村消防の原則が確立され、昭和48年7月1日大野地区消防組合が発足したことにより、県下全域にわたり消防の常備化が実現した。消防吏員は令和5年4月1日現在で1,248名である。

また、消防団員数は令和5年4月1日現在で5,849名であるが、近年の社会経済情勢の変化の影響を受けて、団員数の減少、サラリーマン団員の増加等の課題に直面しており、消防団の充実強化を一層推進することが必要である。

### 2 消防施設

#### (1) 消防機械

消防機械の保有状況は第8表および第9表のとおりであるが、特に近年の救急需要の増加に伴い、各消防本部とも高規格救急自動車の導入を推進している。これにより、高度な救急処置を実施することができ、救命率の向上を図っている。

#### (2) 消防水利

消防水利は、消防機械とともに、火災鎮火のために重要不可欠なものである。

これについては、消防に必要な水利の確保と管理のため「消防水利の基準」が定められ、その基準に適合したものを消防水利としている。消防水利には、消火栓、防火水槽、プール等の人工水利と河川等の自然水利があり、その保有状況は第11表のとおりである。

### 3 民間防火組織

#### (1) 幼年消防クラブ

幼年消防クラブは、幼年期における防火教育の重要性、防火活動を通じての正しい社会的態度の養成の必要性などの観点からはじめられたもので、幼稚園、保育園の指導者を中心に消防機関の協力を得て幼年消防活動を行うことにより、父母兄弟や近隣住民に対する防火思想の普及も効果的に図られている。

#### (2) 少年消防クラブ

少年消防クラブは、少年のころから火災予防に関する知識を身に付け、学校や各家庭における火災防止を図るとともに、火に関する諸原理を実際に即して勉強し、学校教育としての社会科、理科および家庭科の学習の補助を目的とするものであって、昭和25年に少年消防クラブ取扱要綱が制定され、続いて昭和28年に「全国少年消防クラブ運営指導協議会」(会長：消防庁長官)が設けられ、今日に至っている。

#### (3) 女性防火クラブ

女性防火クラブは、家庭において火を使用する機会の多い女性を対象に、火災予防の知識を養うことが必要であることから、任意に結成されたものであり、消防職団員の指導のもとに各家庭の防火診断、火災の初期活動等、重要な役割を果たしている。

## 4 表 彰

消防職員および消防団員の士気高揚を図るとともに、地域住民の消防に対する正しい認識と円滑な協力援助関係を確立するため、消防に関して功労のあった消防職団員、消防機関その他の団体または個人に対し、各種表彰を行っている。

また、昭和58年より新たに県知事の定例表彰の中で、30年以上勤続の消防団員の配偶者等も表彰することにした。

## 5 消防の現況

第1表 消防職団員数の推移(各年4月1日現在)

区分	28	29	30	31	32	33	34	35	36	37	38	39	40	41	42	43	44	45	46
消防職員数	150	163	203	201	231	227	262	257	268	293	328	351	354	372	381	421	461	521	594
消防団員数	11,835	10,701	8,487	8,275	8,091	7,342	7,174	7,147	7,118	6,744	6,759	6,731	6,751	6,754	6,491	6,388	6,303	6,191	6,019

47	48	49	50	51	52	53	54	55	56	57	58	59	60	61	62	63	平成元	2	3	4
693	743	785	785	832	851	872	895	922	937	950	974	974	982	982	983	999	1,009	1,010	1,032	1,052
5,814	5,703	5,647	5,635	5,633	5,623	5,629	5,616	5,549	5,623	5,616	5,608	5,588	5,549	5,545	5,485	5,471	5,453	5,437	5,488	5,492

5	6	7	8	9	10	11	12	13	14	15	16	17	18	19	20	21	22	23	24	25
1,090	1,101	1,119	1,141	1,162	1,169	1,183	1,186	1,190	1,188	1,190	1,193	1,192	1,190	1,189	1,184	1,183	1,180	1,192	1,196	1,189
5,497	5,519	5,502	5,533	5,523	5,518	5,497	5,499	5,483	5,460	5,436	5,439	5,442	5,406	5,411	5,411	5,480	5,560	5,656	5,688	5,661

26	27	28	29	30	令和元	2	3	4	5
1,188	1,206	1,206	1,226	1,238	1,235	1,246	1,245	1,252	1,248
5,720	5,797	5,781	5,809	5,825	5,824	5,814	5,874	5,858	5,849

第2表 消防機関の現況

区 分		令和4年4月(A)	令和5年4月(B)	増減(B-A)
消 防 本 部 ・ 署	消 防 本 部 数	9	9	0
	消 防 署 数	19	19	0
	出 張 所 数	26	26	0
	消 防 職 員 数	1,252	1,248	△ 4
消 防 団	消 防 団 数	18	18	0
	分 団 数	237	237	0
	消 防 団 員 数	5,858	5,849	△ 9

第3表 消防の概況

令和5年4月1日現在

区分 消防本部名	消防本部・署所				消防団						消防水利		基地局および固定局 移動局					
	設置別	消防署数	出張所数	（消防実員数）	自普通自動車数	水槽付消防ポンプ自動車数	消防団数	分団数	消防団常備部数	団員数		自普通自動車数		積載ポンプ	積載車両			
										計	非常勤					防火水槽	消火栓（公設）	
福島市	○	4	13	369	18	3	1	54		992		1	52	41	829	30	15	174
大野市		1	1	55	4		1	10		455		10	21		317	24	3	37
勝山市		1		36	3	1	1	12		294		2	11		437	13	15	42
永平寺町		1		39		3	1	11		343		10	10		184	11	3	27
嶺北消防組合		4	1	203	6	4	2	33		708		36	6		1,615	102	4	131
鯖江・丹生消防組合		1	4	124	5	1	2	36		564		34	3	3	1,663	37	5	254
南越消防組合		3	2	146	7	4	3	32		794		10	27		2,531	33	7	150
敦賀美方消防組合		3	1	152	3	4	3	16		740		23	31	5	1,331	161	8	142
若狭消防組合		1	4	124	6	3	4	33		959		9	39	49	1,089	54	6	136
計	1	8	26	1,248	52	23	18	237	0	5,849	0	135	200	98	18,934	465	66	1,093

第4表 階級別消防職員数

令和5年4月1日現在

区分	消防職員													条 例 定 数				
	計 (A) + (B) (C)	うち女性		消防吏員(実員)									その他の職員					
				消防司令長	消防司令補	消防士長	消防副士長	消防士	消防副士	消防士	事務職員	技術職員	単純労務職員		小計 (C)			
消防本部名																		
福井市	377	8	6	25	88	57	60	73	59	369	8	(1)	( )	( )	( )	( )	8	356
大野市	56	3	( )	1	6	21	8	9	10	55	1	(1)	( )	( )	( )	( )	1	55
勝山市	39	1	( )	1	7	11	6	4	7	36	3	(1)	( )	( )	( )	( )	3	42
永平寺町	39	1	( )	1	5	13	5	6	9	39	( )	( )	( )	( )	( )	( )	0	45
嶺北消防組合	205	11	3	7	44	39	45	33	31	203	2	(2)	( )	( )	( )	( )	2	206
鯖江・丹生消防組合	125	6	1	9	35	20	22	17	20	124	1	( )	( )	( )	( )	( )	1	140
南越消防組合	157	5	1	7	39	32	23	23	21	146	11	( )	( )	( )	( )	( )	11	154
敦賀美方消防組合	153	3	1	13	24	28	26	31	29	152	1	(1)	( )	( )	( )	( )	1	156
若狭消防組合	125	3	1	7	30	17	24	26	19	124	1	( )	( )	( )	( )	( )	1	130
計	1,276	41	13	71	278	238	219	222	205	1,248	28	(5)	(0)	(0)	(0)	(0)	28	1,284

注1: 下段の( )は、女性職員の内数

注2: 条例定数に含まれない派遣・出向職員および短時間勤務の再任用職員がいるため、条例定数を超えている場合がある。

第5表 階級別非常勤消防団員数

令和5年4月1日現在

階級別 消防本部名	合計	団長	副団長	分団長	副分団長	部長	班長	団員	条例定数
福井市	992 (45)	1 ( )	8 ( )	54 (2)	54 (2)	102 (4)	103 (5)	670 (32)	1,055
大野市	455 (90)	1 ( )	2 ( )	9 (1)	10 (2)	34 (3)	70 (6)	329 (78)	485
勝山市	294 (22)	1 ( )	2 ( )	12 ( )	12 ( )	25 (1)	33 (2)	209 (19)	299
永平寺町	343 (32)	1 ( )	2 ( )	11 (1)	11 (1)	—	34 (1)	284 (29)	412
嶺北消防組合	708 (21)	2 ( )	7 ( )	33 ( )	52 ( )	2 (2)	64 (2)	548 (17)	773
鯖江・丹生消防組合	564 (19)	2 ( )	5 ( )	34 ( )	34 ( )	—	84 (1)	405 (18)	647
南越消防組合	794 (44)	3 ( )	9 ( )	32 (2)	32 (2)	—	82 (5)	636 (35)	826
敦賀美方消防組合	740 (38)	3 ( )	4 ( )	16 ( )	16 ( )	53 (1)	88 (2)	560 (35)	769
若狭消防組合	959 (32)	4 ( )	6 ( )	33 ( )	23 ( )	54 (1)	94 (1)	745 (30)	970
計	5,849 (343)	18 (0)	45 (0)	234 (6)	244 (7)	270 (12)	652 (25)	4,386 (293)	6,236

注：下段の( )は、女性団員の内数



第6表 年齢別消防吏員および消防団員数

令和5年4月1日現在

年齢別 消防本部名	消 防 吏 員										消 防 団 員												
	(A)のうち										(C)のうち												
	18歳 〜 19歳	20歳 〜 24歳	25歳 〜 29歳	30歳 〜 34歳	35歳 〜 39歳	40歳 〜 44歳	45歳 〜 49歳	50歳 〜 54歳	55歳 〜 59歳	60歳 〜 64歳	65歳 以上	18歳 〜 19歳	20歳 〜 24歳	25歳 〜 29歳	30歳 〜 34歳	35歳 〜 39歳	40歳 〜 44歳	45歳 〜 49歳	50歳 〜 54歳	55歳 〜 59歳	60歳 〜 64歳	65歳 以上	
	吏員数 (A)	平均年齢 (B)	年齢合計 (B)	平均年齢 (A)	年齢合計 (C)	平均年齢 (C)	年齢合計 (C)	平均年齢 (D)	年齢合計 (D)	平均年齢 (D)	年齢合計 (D)	平均年齢 (D)	年齢合計 (D)	平均年齢 (D)	年齢合計 (D)	平均年齢 (D)	年齢合計 (D)	平均年齢 (D)	年齢合計 (D)	平均年齢 (D)	年齢合計 (D)	平均年齢 (D)	年齢合計 (D)
福井市	369	39.9	14,734	39.9	992	39.9	14,734	39.9	992	39.9	14,734	39.9	992	39.9	14,734	39.9	992	39.9	14,734	39.9	992	39.9	14,734
大野市	55	39.7	2,181	39.7	455	39.7	2,181	39.7	455	39.7	2,181	39.7	455	39.7	2,181	39.7	455	39.7	2,181	39.7	455	39.7	2,181
勝山市	36	41.4	1,489	41.4	294	41.4	1,489	41.4	294	41.4	1,489	41.4	294	41.4	1,489	41.4	294	41.4	1,489	41.4	294	41.4	1,489
永平寺町	39	38.0	1,483	38.0	343	38.0	1,483	38.0	343	38.0	1,483	38.0	343	38.0	1,483	38.0	343	38.0	1,483	38.0	343	38.0	1,483
嶺北消防組合	203	39.0	7,927	39.0	708	39.0	7,927	39.0	708	39.0	7,927	39.0	708	39.0	7,927	39.0	708	39.0	7,927	39.0	708	39.0	7,927
鯖江・丹生消防組合	124	38.0	4,713	38.0	564	38.0	4,713	38.0	564	38.0	4,713	38.0	564	38.0	4,713	38.0	564	38.0	4,713	38.0	564	38.0	4,713
南越消防組合	146	37.8	5,519	37.8	794	37.8	5,519	37.8	794	37.8	5,519	37.8	794	37.8	5,519	37.8	794	37.8	5,519	37.8	794	37.8	5,519
敦賀美方消防組合	152	37.0	5,625	37.0	740	37.0	5,625	37.0	740	37.0	5,625	37.0	740	37.0	5,625	37.0	740	37.0	5,625	37.0	740	37.0	5,625
若狭消防組合	124	36.9	4,575	36.9	959	36.9	4,575	36.9	959	36.9	4,575	36.9	959	36.9	4,575	36.9	959	36.9	4,575	36.9	959	36.9	4,575
計	1,248	38.7	48,246	38.7	5,849	38.7	48,246	38.7	5,849	38.7	48,246	38.7	5,849	38.7	48,246	38.7	5,849	38.7	48,246	38.7	5,849	38.7	48,246

注:18歳〜19歳の欄は18歳未満含む。

第7表 在職年数別消防吏員および消防団員数

令和5年4月1日現在

年数別 消防本部名	消 防 吏 員								消 防 団 員							
	消				防				常 勤				非 常 勤			
	合 計	5 年 未 満	5 10 年 未 満	10 15 年 未 満	15 20 年 未 満	20 25 年 未 満	25 30 年 未 満	30 年 以 上	合 計	5 年 未 満	5 10 年 未 満	10 15 年 未 満	15 20 年 未 満	20 25 年 未 満	25 30 年 未 満	30 年 以 上
福 井 市	369	79	62	50	20	34	34	90	992	180	228	209	129	98	84	64
大 野 市	55	6	10	8	5	4	9	13	455	89	125	69	62	38	36	36
勝 山 市	36	4	5	3	4	4	8	8	294	49	47	54	43	47	29	25
永 平 寺 町	39	8	7	3	2	5	9	9	343	156	65	58	24	24	13	3
嶺 北 消 防 組 合	203	22	36	36	21	16	29	43	708	112	130	140	115	89	76	46
鯖 江 ・ 丹 生 消 防 組 合	124	26	15	17	12	8	25	21	564	90	136	127	93	73	32	13
南 越 消 防 組 合	146	26	25	22	10	12	26	25	794	131	184	133	117	96	69	64
敦 賀 美 方 消 防 組 合	152	19	24	33	19	14	27	16	740	240	209	145	74	35	20	17
若 狭 消 防 組 合	124	17	21	27	11	11	11	26	959	396	237	154	99	46	23	4
計	1,248	207	205	199	104	108	174	251	5,849	1,443	1,361	1,089	756	546	382	272

第8表 消防ポンプ自動車等現有数(消防本部および署)

令和5年4月1日現在

区分	消防本部・署現有														その他車両											
	普通消防ポンプ自動車	水槽付消防ポンプ自動車	はしご付消防ポンプ自動車 (ポンプ付でないものを含む)	18m級	24m級	30m級	38m級	消防ポンプ自動車付	大型高所放水車	泡原液搬送車	化学消防ポンプ自動車	指揮車	照明車	積載ポンプ付小型動力車 積載しない車両に積載して		広報車	資器材搬送車	屈折放水塔車	水槽車	支援車	人員搬送車	防災指導車	救急自動車	救助工作車		
消防本部名																										
福井市消防局	17	3	2	1	1	1	1	1	1	1	3	5		7	6	4		1	1	1	1	1	11 (11)	2	8	
大野市消防本部	4				1						1	1				3		1				4 (4)	1	1		
勝山市消防本部	3	1										1			1							3 (3)	1	2		
永平寺町消防本部		3										1		2		1						3 (3)	1			
嶺北消防組合	6	4						2			1	4	5	4	1	5		1		1		8 (8)	3	9		
鯖江・丹生消防組合	5	1				1					1	2			7	2		1		2		7 (7)	1	1		
南越消防組合	7	4				1					2	3		1	7	5	1	1	1	1		8 (8)	3			
敦賀美方消防組合	3	4	1				1				2	1		6	3	5		1				6 (6)	1	9		
若狭消防組合	7	3				1					1	1		6	5	2				1		7 (7)	1	1		
計	52	23	3	1	3	2	3	3	1	2	14	20	0	0	26	28	1	4	4	5	1	57 (57)	14	31		

注:救急自動車の( )は高規格救急自動車で内数

第9表 消防ポンプ自動車等現有数（消防団）

令和5年4月1日現在

種別 消防本部名	消防団現有			
	普通消防ポンプ自動車	水槽付消防ポンプ自動車	小型動力ポンプ	
			小型動力ポンプ付積載車	車両に積載していないもの
福井市	1		52	
大野市	10		20	4
勝山市	2		12	
永平寺町	10		10	
嶺北消防組合	35		6	6
鯖江・丹生消防組合	30	4	3	
南越消防組合	12		25	39
敦賀美方消防組合	21		34	3
若狭消防組合	9		37	32
計	130	4	199	84

第10表 化学消火薬剤備蓄状況

令和5年4月1日現在

種別	計		化学消火剤種別											
	(A)	(B)	たん白系		合成界面	水成膜泡	水溶性液体用泡	粉末(kg)						
	(kg) (ア)～(オ)	(kg) (カ)～(ケ)	3%型 (kg) (ア)	6%型 (kg) (イ)	活性炭 (kg) (ウ)	消火薬剤 (kg) (エ)	消火薬剤 (kg) (オ)	第1種 粉未 (kg) (カ)	第2種 粉未 (kg) (キ)	第3種 粉未 (kg) (ク)	第4種 粉未 (kg) (ケ)			
消防本部名														
福井市	15.53	0.00	10.90	0.09	1.63	2.57	0.34							
大野市	1.79	0.00			0.60	1.19								
勝山市	0.80	0.00			0.80									
永平寺町	0.50	0.00			0.50									
嶺北消防組合	27.32	0.00	5.06		3.62	18.64								
鯖江・丹生消防組合	4.48	0.00			2.46	2.02								
南越消防組合	3.04	0.00			1.08	1.96								
敦賀美方消防組合	1.75	0.00	0.20		1.01	0.54								
若狭消防組合	1.34	0.00			1.34									
計	56.55	0.00	16.16	0.09	13.04	26.92	0.34	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00

第11表 消防水利の状況

令和5年4月1日現在

種別	消火栓			小計(C)(D)+(E)				公設(D)				私設(E)				その他										
	計	小計	公設	私設	防火水槽				防火水槽				防火水槽				小計	河川	海	沼	下	その他				
					100 m <sup>3</sup> 以上	60 ～ 100 m <sup>3</sup>	40 ～ 60 m <sup>3</sup>	20 ～ 40 m <sup>3</sup>	100 m <sup>3</sup> 以上	60 ～ 100 m <sup>3</sup>	40 ～ 60 m <sup>3</sup>	20 ～ 40 m <sup>3</sup>	100 m <sup>3</sup> 以上	60 ～ 100 m <sup>3</sup>	40 ～ 60 m <sup>3</sup>	20 ～ 40 m <sup>3</sup>							井戸	井戸	井戸	
消防本部名	(A) + (B) (C)	小計	公設	私設	100 m <sup>3</sup> 以上	60 ～ 100 m <sup>3</sup>	40 ～ 60 m <sup>3</sup>	20 ～ 40 m <sup>3</sup>	100 m <sup>3</sup> 以上	60 ～ 100 m <sup>3</sup>	40 ～ 60 m <sup>3</sup>	20 ～ 40 m <sup>3</sup>	100 m <sup>3</sup> 以上	60 ～ 100 m <sup>3</sup>	40 ～ 60 m <sup>3</sup>	20 ～ 40 m <sup>3</sup>	井戸	井戸	井戸	小計	河川	海	沼	下	その他	
福島市	10,453	9,594	9,594	0	30	8	791	30	0	30	8	791	30	0	0	0	井戸	井戸	井戸	326	128				120	
大野市	856	488	488	0	3	3	311	24	27	0	1	242	14	27	2	69	10	井戸	井戸	0	0					
勝山市	652	437	437	0	3	2	197	13	0	3	2	197	13	0	0	0	0	井戸	井戸	0	0					
永平寺町	448	184	184	0	1	19	233	11	0	1	19	233	11	0	0	0	0	井戸	井戸	9	9					
嶺北消防組合	2,954	1,615	1,615	0	51	35	1,151	102	0	12	19	954	79	0	16	197	23	井戸	井戸	45	5	1	39			
鯖江・丹生消防組合	2,602	1,663	1,663	0	17	13	872	37	0	15	10	849	37	0	2	3	23	井戸	井戸	31			26		5	
南越消防組合	3,352	2,629	2,531	98	7	19	664	33	0	6	19	648	32	0	1	16	1	井戸	井戸	106	61	1	25	18	1	
敦賀美方消防組合	1,780	1,331	1,331	0	5	8	222	161	53	5	3	207	154	53	0	5	7	井戸	井戸	0	0					
若狭消防組合	1,668	1,089	1,089	0	1	6	518	54	0	1	2	510	48	0	4	8	6	井戸	井戸	31			31			
計	24,765	19,030	18,932	98	118	113	4,959	465	80	73	83	4,631	418	80	45	30	47	井戸	井戸	548	194	2	208	18	0	126

第12表 消防機関の出動状況

令和4年中

区分	種別	県計 (ア)~(カ)	火災 (ア)	風水害 等の 災害 (イ)	演習 訓練 (ウ)	広報 指導 (エ)	警防 調査 (オ)	火災 原因 調査 (カ)	特別 警戒 (キ)	捜索 (ク)	予防 査察 (ケ)	誤報等 (コ)	その他 (サ)
消防本部・署所	出動回数	18,955	164	132	2,726	2,486	5,195	226	1,440	11	4,536	119	1,920
	出動延人数	61,035	2,317	446	12,961	6,753	14,501	1,077	4,379	137	11,985	1,474	5,005
消防団	出動回数	4,317	90	22	1,345	335	23	0	399	1	0	34	2,068
	出動延人数	33,020	1,417	186	16,353	2,956	289	0	3,666	2	0	173	7,978

第13表 消防吏員および団員の公務による死傷者数

令和4年中

区分	種別	県計 (ア)~(キ)	火災 (ア)	風水害 等の 災害 (イ)	救急 業務 (ウ)	演習 訓練 (エ)	特別 警戒 (オ)	捜索 (カ)	その他 (キ)
消防吏員	死者	0	0	0	0	0	0	0	0
	負傷者	8	1	0	2	3	0	0	2
消防団	死者	0	0	0	0	0	0	0	0
	負傷者	7	0	0	0	7	0	0	0

第14表 火災通報施設等の現況

令和5年4月1日現在

区分	火災報知機			テレビ 監視装置 (基) (基)	望 楼		電 話				救急指令装置		
	受信機 (基)	発信機			小計 (ウ)+(エ) (基) (基)	24時間 監視を している もの (ウ) (基) (基)	その他 (エ) (基)	小計 (カ)+(キ)+(ク) (回線) (回線)	消防機関にあるもの		救急 指令 専用	消防 指令 装置と併用	
		小計 (ア)+(イ) (基) (基)	公衆用 (ア) (基) (基)						自衛用 (イ) (基) (基)	火災報知 専用電話 (カ) (回線) (回線)			消防電話 1ヶ月あた りの経費 (キ) (千円) (回線)
消防本部名													
福井市	0			0			294	18	203	160	73		1
大野市	0			1			32	9	2	5	21		
勝山市	0						19	16			3		
永平寺町	0						17	8			9		1
嶺北消防組合	0						37	2			35		
鯖江・丹生消防組合	0						60	13	5	233	42	1	1
南越消防組合	0						55	12	2		41		
敦賀美方消防組合	0						43	13	4	252	26		
若狭消防組合	0			1			48	8	8		32		
計	0	0	0	2	0	0	605	99	224	650	282	1	3



第15表 無線通信施設等の現況

令和5年4月1日現在

種別 消防本部名	消防・救急業務用無線（デジタル方式）										携帯電話等				
	固定局			基地局および携帯基地局						移動局		その他の無線局数	衛星携帯電話保有数	救急車および救急隊	うち災害時優先電話
	局数		局の電波の数の 「その他」の数	局数		電波の数				陸上移動局数	携帯局数				
	多重	その他		基地局	携帯基地局	統制波	主運用波	活動波	防災相互波						
福井市	6			9		3	1	5		174			4	11	11
大野市				3		3	1	2		37			2	4	4
勝山市		12	12	3		3	1	2		42			1	2	2
永平寺町				3		3	1	2		27			1	3	3
嶺北消防組合				4		3	1	3		131			1	9	4
鯖江・丹生消防組合				5		3	1	2		254			3	6	6
南越消防組合				7		3	1	3		150			5	8	8
敦賀美方消防組合				8		3	1	2		142			3	6	5
若狭消防組合				6		3	1	2	1	136			1	6	6
計	6	12	12	48	0	27	9	23	1	1,093	0	0	21	55	49

第16表 幼年消防クラブの現況

令和5年4月1日現在

種別	組織別クラブ数					組織別クラブ員数					指導者数					
	計	幼稚園 保育園 単位	学校 単位	市 単位	地区 単位	その他	計	幼稚園 保育園 単位	学校 単位	市 単位	地区 単位	その他	計	幼稚園 保育園 単位	学校 単位	その他
消防本部名																
福井市	2	2					32	32					11	11		
大野市	14	14					923	923					14	14		
勝山市	12	12					395	395					52	52		
永平寺町	10	10					572	572					59	59		
嶺北消防組合	45	45					3,858	3,858					45	45		
鯖江・丹生消防組合	38	38					1,420	1,420					94	94		
南越消防組合	35	35					751	751					35	35		
敦賀美方消防組合	36	36					2,382	2,382					36	36		
若狭消防組合	1	1					31	31					4	4		
計	193	193	0	0	0	0	10,364	10,364	0	0	0	0	350	350	0	0

第17表 少年消防クラブの現況

令和5年4月1日現在

種別	組織別クラブ数					組織別クラブ員数					指導者数					
	計	学校単位		市町単位	地区単位	その他	計	学校単位		市町単位	地区単位	その他	学校単位		計	
		小学校	中学校					小学校	中学校				小学校	中学校		
消防本部名																
福井市	50	50					2,390	2,390					134	134		
大野市	13	9	4			503	421	82					13	9	4	
勝山市	15	3		3	9	762	312				46		47	9		38
永平寺町	10				10	203							48			48
嶺北消防組合	26	26				994	994						26	26		
鯖江・丹生消防組合	20	20				2,386	2,386						100	100		
南越消防組合	21	21				761	761						21	21		
敦賀美方消防組合	10	10				308	308						10	10		
若狭消防組合	0					0							0	0		
計	165	139	4	0	3	19	8,307	7,572	82	0	46		399	309	4	86

第18表 女性防火クラブの現況および活動状況

令和5年4月1日現在

種別	合計		周囲の状況						活動状況別組織数			
	組織数 (ア)+(イ)+(ウ)+(エ)	人員 (カ)+(キ)+(ク)+(ケ)	市街地		農山村地域		漁村地域		消火活動を行う (a)	消火活動は行わないが、炊き出し、連絡、救護等を行う (b)	(a)(b)は行わず、予防の啓蒙活動を行っている (c)	
			組織数 (ア)	人員 (カ)	組織数 (イ)	人員 (キ)	組織数 (ウ)	人員 (ク)				組織数 (エ)
消防本部名												
福井市	36	872	17	319	17	481	2	72	6		30	
大野市	0	0			0	0			0			
勝山市	7	58	2	28	5	30			7			
永平寺町	1	16	1	16							1	
嶺北消防組合	2	494	2	494							2	
鯖江・丹生消防組合	21	960	7	152	11	373	3	435	11		10	
南越消防組合	15	173	11	110	4	63				15		
敦賀美方消防組合	6	1,368	2	1,332	2	28	2	8	4		2	
若狭消防組合	11	165			7	121	4	44	11			
計	99	4,106	42	2,451	46	1,096	11	559	39	17	43	

第19表 消防表彰受賞状況

種 類		年 度										
		平25	26	27	28	29	30	令元	2	3	4	
叙 勲		22	23	21	22	23	21	23	21	20	23	
藍 綬 褒 章		3	3	2				3	1	1	2	
消 防 庁 長 官 表 彰	功 勞 章	2	2	1	1	1				1	1	
	永年勤続功労章	21	21	22	22	23	23	23	24	23	25	
	表 彰 旗											
	竿 頭 綬	1	1	1								
	消防団 地域 活動	消 防 団	1	1	1	1					1	
		事 業 所			1			1	4		1	1
	少 年 消 防 ク ラ ブ	表 彰 旗	1									
		表 彰 楯		1	1	1	1	1	1	1	1	1
		指 導 者										
	福 井 県 知 事 表 彰	功 勞 章	40	40	40	40	40	40	40	39	40	40
永年勤続精績章		154	177	132	168	149	154	137	120	155	143	
銀 杯		71	73	49	55	67	58	68	47	54	64	
感謝状		退 職 幹 部	33	16	49	23	20	17	19	20	25	14
		人 命 救 助 そ の 他										
		配 偶 者 等 表 彰	26	33	33	31	26	47	44	36	49	44
竿 頭 綬		35	46	46	47	49	52	45	49	54	74	
特 別 功 勞 章												

## 第7章 消防教育訓練

### 1 消防学校の概要

#### (1) 沿革

昭和34年7月16日 福井市水越町に福井県消防学校設置  
 昭和47年11月1日 福井市合谷町へ移転  
 平成8年4月1日 福井市大畑町へ再移転、現在に至る。

#### (2) 施設概要

ア 所在地等 (ア) 所在地 福井市大畑町97-21-3  
 (イ) 敷地面積 40,759.02㎡

イ 建物工作物等

建物構造および規模

・ 敷地面積 ..... 40,759.02㎡      ・ 建物延面積 ..... 8,001.62㎡

名称	規模・構造	延べ面積(㎡)	内 容
教育管理棟 宿泊施設(3階)	RC造3階	3,249㎡	1階 校長室 講師控室 職員室 会議室 女性専用寮室(2室) 宿直室 2階 普通教室(60人)(40人) 談話室 図書室 視聴覚室 理化学室(各種実習室併設) 等 3階 寮室(20室) トレーニングルーム 娯楽室
体育館	鉄骨造2階建	2,106.25㎡	1階 食堂 学生ホール 和室 倉庫 2階 アリーナ
雨天訓練場	鉄骨平屋建	1,091.22㎡	訓練場(救助、ポンプ操法訓練施設) 訓練資器材庫 訓練車両庫
訓練塔(主)	SRC造 地下1階建 地上8階建	594.84㎡	立坑訓練室 耐煙迷路室 消火設備実験室 垂直救助訓練 水平ロープ渡過 ブリッジ救出訓練施設 放水訓練室 水平救助・担架吊り下げ救出訓練施設 梯子車注水訓練室 積載梯子上救出訓練施設 梯子車進入訓練室 高所活動・人命検索訓練施設 救助袋等避難器具取扱訓練室 地下火災実験室
訓練塔(補助)	鉄骨造 地上7m	A塔 70.44㎡ B塔 32.86㎡	人命救助訓練施設 引上救助訓練施設 中高層建物防御訓練施設 斜め救助訓練施設 障害突破 垂直降下訓練施設
水難訓練用プール (兼、潜水訓練)	FRP製	25m×5コース 水深1.5m～3.0m 容量630m³ 採水口4箇所(ポンプ車用) 機械室・便所(34.43㎡)	
その他施設			油火災消火訓練施設(耐火レンガ造) 直径3m×高さ0.5m 防火訓練壁 幅14m×高さ4m 受水槽20㎡ 煙道訓練施設 間口1.0m×1.0m 模擬火災訓練家屋(可搬式プレハブ型模擬ハウス) 山岳救助訓練施設(25m×60m)
屋外訓練場		7,800㎡(120m×65m) 1周200mグラウンド	

### 2 教育訓練

消防職団員の各種教育訓練を第1表および第2表のように実施し、人的消防力の充実向上を図るとともに、より高度の専門的知識を修得させた。  
 また、第3表のとおり消防大学校へ職員を派遣した。

第1表 令和4年度 消防本部別受講者数

区分	教育訓練の種類	項目	実施年月日	教育 実日数	延時間	消防本部						合計			
						福井	敦賀美方	南越	若狹	大野	勝山		鯖江丹生	嶺北	永平寺
消防職員	初任教育(第57期)	初級幹部科	R4 4. 5~9. 28	115	798	12	4	4	2	2	2	3	6	1	36
			隔年実施につき未実施												
	幹部教育	中級幹部科(第33期)	R4 12. 5~12. 13	7	49	2	2	1	2	1	1	2	2	1	14
			中止												
	専科教育	警防科(第39期)	R4 11. 15~11. 29	10	70	2	2	2	2	1	1	2	4	1	17
			隔年実施につき未実施												
	予防査察科(第18期)	R5 2. 2~2. 15	10	70	4	2	2	2	1	1	2	2	2	1	17
		R5 1. 11~1. 19	7	49	4	2	2	2	1	1	2	4	4	1	19
	火災調査科	R4 10. 5~11. 8	23	161	2	2	2	2	1	1	1	1	4	1	16
		R5 1. 26~3. 17	36	252	4	4	4	4	4	1	5	8	3	1	34
	水難救助科(第26期)	R4 8. 23~9. 7	12	84	2	3	1	2			2	4	1		15
(下記公開講座に記載)		4	16												
特別教育	操法指導員教育	R4 4. 14~4. 15	2	14	5	4	4	4	2	4	4	4	3	34	
		R4 5. 31	1	3	4	4	2	2	1	2	4	4	4	23	
小計	起震車操作員教育(新規養成)	227	1,566	41	29	24	24	10	14	27	42	13	1	225	
		2	12	5	8	2	9	7	1	4	3	2	2	41	
消防団員	初級幹部科	現場指揮課程	R4 11. 26~11. 27	2	14	2	6	3	4	3	1	1	2	2	24
			R4 12. 10~12. 11	2	10	3	5	3	7	1	2	4	3	2	30
	分団指揮課程	R4 11. 5~11. 6	2	12	1	3	3	4	1	1	2	2	2	1	18
		小計	8	48	11	22	11	24	12	5	11	10	7	14	113
	自主防災組織指導員教育	R4 10. 3	1	4										14	14
		R5 3. 5	1	6	14	4	2	2		2	6	5			33
	女性防火クラブ員教育	小計	2	10	14	4	2	2		2	6	5		14	47
		合計	237	1,624	66	51	39	50	22	21	44	57	20	15	385
	公開講座	警防科	R4 11. 21	1	4	3	4	4	4	2	2	2	3	1	25
			R4 12. 8	1	4	8	6	10	2	1	2	4	3	1	37
			R5 2. 7	1	4	10	3	8	4	2	2	2	4	3	38
R5 3. 7			1	4	4	4	4	3	2	4	4	4	2	31	
公開講座合計	4	16	25	17	26	13	13	7	10	12	14	7	131		
	241	1,640	91	68	65	63	29	31	56	71	27	15	516		

第2表 令和4年度 消防学校教育訓練実施状況

区分	教育訓練の種類	項目	入校者数	教育実日数	教育時間数	担当講師別時間数			
						学校	県	消防	専門
消防職員	初任教育(第57期)		36	115	798	496	47	206	49
	幹部教育	初級幹部科							
		中級幹部科(第33期)	14	7	49	7	5	25	12
		上級幹部科							
	専科教育	警防科(第39期)	17	10	70	16	7	21	26
		特殊災害科							
		予防査察科(第18期)	17	10	70	6	4	53	7
		危険物科(第36期)	19	7	49	5	8	25	11
		火災調査科							
		救助科(第46期)	16	23	161	17	8	109	27
	特別教育	救急科(第30期)	34	36	252	14	6	61	171
		水難救助科	15	12	84	3		81	
		操法指導員教育	34	2	14	2		12	
起震車操作員教育(新規養成)		23	1	3	3				
小 計			225	223	1,550	569	85	593	303
消防団員	初級幹部科		41	2	12	5			7
	指揮幹部科								
	現場指揮課程		24	2	14	1		13	
	分団指揮課程		30	2	10	8	2		
	消防団指導員教育(日消)		18	2	12	11	1		
小 計			113	8	48	25	3	13	7
その他・	自主防災組織指導員教育		14	1	4	4			
	女性防火クラブ員教育		35	1	6	5			1
	小 計			49	2	10	9		1
合 計			387	233	1,608	603	88	606	311
公開講座	警防科		25	1	4				4
	中級幹部科		37	1	4				4
	予防査察科		37	1	4				4
	救急科		33	1	4				4
	公開講座合計			132	4	16			16
総 合 計			519	237	1,624	603	88	606	327

第3表 令和4年度消防大学校派遣者数

学 科	派遣者数	備 考
幹 部 科	(第69期)	1 鯖江・丹生消防
	(第70期)	1 南越消防
	(第71期)	1 敦賀美方消防
上 級 幹 部 科	(第86期)	1 消防学校
警 防 科	(第110期)	1 嶺北消防
	(第111期)	1 消防学校
救 助 科	(第85期)	1 若狭消防
救 急 科	(第84期)	1 永平寺町消防
予 防 査 察 課	(第113期)	1 福井市消防
火 災 調 査 科	(第42期)	1 嶺北消防
新 任 教 官 科	(第16期)	1 福井市消防
指 揮 隊 長 コ ー ス	(第27回)	1 嶺北消防
高度救助・特別高度救助コース	(第12回)	1 福井市消防
N B C コ ー ス	(第12回)	1 福井市消防
航 空 隊 長 コ ー ス	(第22回)	1 防災航空事務所
危機管理・国民保護コース	(第12回)	1 福井市
査察業務マネジメントコース	(第6回)	1 鯖江・丹生消防
合 計	17	